

令和3年度

広島県立美術館年報

## 目 次

I	沿革	2
II	展覧会	
	展覧会一覧	5
	特別展	
	1 没後70年 南薫造	6
	2 藤子不二雄 <sup>Ⓐ</sup> 展 ― <sup>Ⓐ</sup> の変コレクション ―	10
	3 はるかなる古伊万里 400年の物語	12
	4 大広重展	
	― 東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界 ―	16
	5 第68回日本伝統工芸展	19
	所蔵作品展	22
III	普及活動	
	1 第9回新県美展（第73回広島県美術展）	40
	2 博物館実習	41
	3 学校・地域との連携事業	43
	4 鑑賞支援制作物	46
	5 学校等による利用状況	48
	6 県民ギャラリー利用状況	49
	7 友の会事業報告	52
	8 その他取組（図書室漫画コーナー設置）	54
IV	事業実施状況	55
	1 広島県立美術館における新型コロナウイルス の影響と対策、情報発信について	59
V	業務一覧	61
VI	入館者数一覧	70
VII	美術品等収集状況	72
VIII	美術品等の貸出し	79
IX	関係法規	80
X	名簿	90

# I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる	昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年広島県教育委員会規則第2号)
昭和38年 4月	調査費計上	昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和39年 4月	設計委託料計上	昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年 4月	整地費など計上	昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定	4月	定宗一宏館長(非常勤)任命
12月	建設募金委員会発足	10月	広島県立美術館条例一部改正(昭和55年広島県条例第19号)施設使用料
昭和42年 1月	起工式挙行	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和55年 広島県教育委員会規則第10号)
昭和43年 3月	旧館竣工	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年 広島県教育委員会規則第5号)課の名称変更・入館料の免除
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年 広島県条例第20号)	10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年 広島県条例第5号 基金額1億円)
	広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43年 広島県教育委員会規則第1号)	昭和57年 3月	定宗館長辞職
	加藤豊館長(常勤)任命	4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年 広島県条例第10号)入館料・施設使用料
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年 広島県条例第38号)	9月	縮景園窓口入園窓口を設置
7月	広島県立美術館協力を結成	昭和60年 3月	阿川館長辞職
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和43年 広島県教育委員会規則第13号)分掌事務	4月	赤木博典館長(常勤)任命
21日	落成式挙行	昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
22日	旧館開館	昭和62年 2月	渋谷文庫開設
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	3月	県立美術館整備計画検討会議,整備構想案をまとめる
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定	4月	赤木館長辞職
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和44年 広島県教育委員会規則第2号)	11月	吉岡典威館長(兼務)任命
	職員の職・職員の職務	昭和63年 4月	県教育委員会,広島県立美術館整備構想検討委員会を設置,委員8名を委嘱
	館藏品常設展開設	菅川健二館長(兼務)任命	広島県立美術館条例一部改正(昭和63年 広島県条例第7号)入館料・施設使用料
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命	11月	広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額(基金額2億円)
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足	平成元年 3月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	5月	さところ文庫開設
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命	7月	広島県立美術館整備基本計画検討委員会を設置,委員18名を委嘱(座長 橋口収県商工会議所連合会会長)
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和47年 広島県教育委員会規則第11号)職員の職	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱
	羽白幸雄館長(非常勤)任命	平成2年 3月	「広島県立美術館所蔵作品図録」発刊
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊	4月	広島県立美術館美術品など取得基金,5億円を増額(基金額7億円)
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年 広島県条例第30号)		
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年 広島県教育委員会規則第14号)補助職員の職及び職務		
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年 広島県教育委員会規則第19号)職員の職等		
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和49年 広島県教育委員会規則第4号)その他の職員の職		
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年 広島県条例第25号)施設使用料		
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年 広島県条例第9号)入館料		

12月	知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁	平成12年 2月 1日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正
平成3年 2月	知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案	平成13年 3月26日	広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止
3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)を可決	29日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免
4月	広島県立美術館整備基本計画をまとめる 美術品等特別収集に着手 広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)	7月10日	常盤豊館長(兼務)就任
平成4年 7月	施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室	10月22日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免
9月	閉館記念式典挙行	12月20日	平山郁夫名誉館長辞任
10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする 旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)	平成14年 3月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化
平成5年 3月	解体工事、整地完了 新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手	4月 1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更
4月	久保信保館長(兼務)任命	平成16年 7月 1日	関靖直館長(兼務)就任
12月	寺協研館長(兼務)任命 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)	平成17年12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件取消し等及び制限 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正
平成6年 5月	事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2幟会馆(2階)に移転 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)	平成19年 4月 1日	榎田好一館長(兼務)就任
平成7年 4月	常廣泰登館長(専任)任命 広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)	6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正
12月	新館竣工 新館鍵引渡し式を挙行	12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正
平成8年 1月	事務所を新館に移転	平成20年 4月 1日	指定管理者制度導入
4月 1日	木曾功館長(兼務)就任	平成21年 4月 1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行 広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号) 広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号) 藤田雄山館長(兼務)就任
7月 1日	平山郁夫名誉館長就任	12月 1日	平田光章館長(兼務)就任
5日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料	平成22年 4月 1日	抹香尊文館長(兼務)就任
22日	広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料	6月 1日	広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
10月 1日	「広島県立美術館コレクション選」発刊	28日	広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正
5日	新館開館記念式挙行	平成23年 4月 1日	越智裕二郎館長就任
6日	新館開館 広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)	6月29日	広島県立美術館評価委員会設置
平成9年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料	7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入
4月 1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定	平成24年 4月 1日	広島県立美術館の入特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24 広島県規則第38号)
平成10年 3月24日	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)		
7月 1日	辰野裕一館長(兼務)就任		

平成25年	2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更	平成29年	3月23日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成29年 教育委員会規則第1号)利用料金の減免、利用料金の減免の申請
	3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成25年 広島県規則第13号) 広島県立美術館条例一部改正に伴う改正		31日	広島県立美術館の入館料に関する規則一部改正(平成29年広島県規則第16号)入館料の免除
平成26年	3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間	平成31年	3月 8日	広島県立美術館条例一部改正(平成31年 広島県条例第5号)利用料金の範囲
平成27年	3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免	令和2年	3月 7日	新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館(同日午後から令和2年5月11日まで)
	4月 1日	千足伸行館長就任	令和3年	3月22日	広島県立美術館条例一部追加(令和3年条例3号)指定管理者の指定を取り消した場合等の特例、一部改正(令和3年条例3号)委任規定
平成28年	3月22日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第7号)入館料・利用料金の減免、所蔵作品展の利用料金の範囲		5月10日	新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館(令和3年6月20日まで)
	10月12日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第47号)指定管理による管理、入館料の納付等、利用料金の納付等、入館料の減免、利用料金の減免、利用料金の収入		8月 7日	新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館(令和3年9月30日まで)
			令和4年	1月11日	新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館(令和4年3月6日まで)

## Ⅱ 展覧会

### 展覧会一覧

令和3年4月1日～令和4年3月31日までに開会した展覧会は、次の通り。なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い「第68回日本伝統工芸展」は中止した。

#### 特別展

展 覧 会 名		会 期
1	没後70年 南薫造	4月20日(火)～6月13日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：5月10日(月)～6月13日(日) 特別鑑賞日：6月21日(月)～23日(水)
2	藤子不二雄 <sup>Ⓐ</sup> 展 ― <sup>Ⓐ</sup> の変コレクション ―	7月21日(水)～9月26日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：8月7日(土)～9月26日(日)
3	はるかなる古伊万里 400年の物語	10月8日(金)～12月5日(日)
4	大広重展 ― 東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界	12月17日(金)～2月6日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：1月11日(火)～2月6日(日)
5	第68回日本伝統工芸展	2月16日(水)～3月6日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

#### 所蔵作品展

展 覧 会 名		会 期
1	春の所蔵作品展 「没後70年 南薫造」展にちなんで	4月29日(木・祝)～7月4日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：5月10日(月)～6月20日(日)
2	夏の所蔵作品展 サマーミュージアム どうぶつ あつまれ!	7月8日(木)～9月12日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：8月7日(土)～9月12日(日)
3	秋の所蔵作品展 名品の森 I	9月16日(木)～12月24日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：9月16日(木)～9月30日(木)
4	冬の所蔵作品展 名品の森 II	1月2日(日)～4月17日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：1月11日(火)～3月6日(日)



# 1 没後70年 南薫造

会 期／令和3(2021)年4月20日(火)～6月13日(日)

※月曜休館(ただし5月3日は開館)

※特別鑑賞日 6月21日(月)～6月23日(水)

主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、NHK広島放送局、  
NHKエンタープライズ中国、中国新聞社

後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、  
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協 賛／大田鋼管株式会社、広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団  
地域連携協力／くれしん芸術文化財団、南薫造記念館、  
安浦町まちづくり協議会、呉市立安浦小学校

制作協力／NHKプロモーション

入館料／一 般 1,400(1,200)円 高・大学生 900(700)円 中学生以下無料

※( )内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／4,389人(19日間+特別鑑賞日3日間)

※49日間の会期のうち、コロナ感染拡大防止対策のため5月11日から閉幕まで休館。

会期終了後に、3日間の特別鑑賞日を設定。



広島県呉市安浦町出身の南薫造(1883-1950)は、近代日本洋画史を代表する画家の一人である。1907年、東京美術学校卒業後に渡欧。イギリスやフランスに滞在し、人物画や風景画の研鑽を積んだ。帰国後は文展で連続受賞を果たすなど、新進作家として活躍。印象派風の光の表現を取り込んだ明るく豊かな色彩による、穏和な風景画で画壇での評価を築いた。

画家の没後70年を記念した本展は、ヨーロッパ留学時代の作品や、文展や帝展、日展出品作、アジア各地に取材した風景画をはじめとする代表作を網羅し、初期から晩年までの画業の全貌を紹介する初の全国巡回展として開催。瀬戸内に取材した伸びやかな油彩画や素朴で愛らしい木版画、季節の変化をみずみずしく捉えた水彩画や日本画、さらには絵日記や絵葉書などの資料も含めたおよそ250点により、豊かで温もりのある色彩に彩られた清新な画業を紹介した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当初予定していた関連事業の一部を中止した。

(本展担当者：藤崎 綾)

## 関連事業

(1) 講演会(広島県立美術館友の会共催)

日 時：4月24日(土) 13:30～15:00

講 師：倉橋 清方(元・呉市立美術館長)

演 題：「南薫造とその周辺」

会 場：地階講堂

参加者：78人



(2) インスタギャラリートーク

日 時：4月27日(火)、6月1日(火) 各日17:00～

講 師：角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、森 万由子(当館学芸員)

参加者：計114人

(3) 「南薫造と旅する瀬戸内の美」マップ配布(4月14日～会期中) (p. 43「学校・地域との連携事業」も参照)

瀬戸内を題材とした南薫造作品と現在の風景を対比し、それぞれの場所について紹介

監 修：広島県立美術館

協 力：呉市立美術館、南薫造記念館、蘭島閣美術館

協 賛：安浦町まちづくり協議会、橋本工業株式会社、武田製鋼株式会社、

公益財団法人呉市文化振興財団、シーサイド桂ヶ浜荘、有限会社竹本住宅設備

発行元：一般社団法人呉観光協会、安浦町観光協会、安芸津町観光協会

(4) 安浦小学校の児童制作絵画の展示(会期中) (p. 43「学校・地域との連携事業」も参照)

くれしん芸術文化財団・南薫造記念館・呉市立安浦小学校・広島県立美術館による連携事業。

展覧会に先立ち、南薫造の母校・安浦小学校の児童を対象に絵画ワークショップを開催。児童が南薫造記念館の敷地内及び周辺で写生した作品を、会期中にロビーに展示(当館での展示終了後は、「安浦小学校の児童が描く一南薫造の風景」展と題して、街かど市民ギャラリー90(呉信用金庫 7月14日～8月2日)、南薫造記念館(8月6日～9月5日)でも巡回展示)。

連携事業の一環として「特別展鑑賞バスツアー」も実施し、制作にあたった児童が、当館で南薫造展を鑑賞した。

絵画ワークショップ：

日 時：2月22日(月)

① 8:40～10:00 ② 10:10～11:30

講 師：角田 知扶(呉市文化振興課学芸員)、

角田 新・弘津かおる・神内 有理・

一色 直香(当館職員)

会 場：南薫造記念館敷地内及びその周辺

参加者：① 6年1組(28名) ② 6年2組(28名)



### 主要関連番組

(1) テレビ

3/14 NHK「アートシーン」『日曜美術館』

3/20～ RCCテレビCM

4/5 NHKテレビCM

4/20 NHK『ひるまえ直送便』(担当者出演：藤崎)、RCCニュース

4/21 NHKニュース

4/23 NHKテレビCM

4/28 NHK『お好みワイド広島』

(2) ラジオ

3/20～ RCCラジオCM

4/27 エフエムおのみち『You Gotta Radio』(担当者出演：藤崎)

5/14 エフエムふくやま



## 主要関連記事

### (1) 新聞

#### ・中国新聞

- 2/23 「南薫造記念館でスケッチ」
- 3/10 社告
- 4/16 「特集 風景や人物に滲む人柄」
- 4/21 「洋画家 南薫造の足跡に光」
- 4/30 「イベントナビ」
- 5/11 「催しの中止について」
- 5/14 「南薫造の作品たどる地図」
- 6/4 「特集 南薫造の多才に光」
- 6/17 再開催
- 6/22 再開催スタート

(新聞広告)

(半5段：3/31、4/6、14、21、23、26、5/5)、

(半3段：4/9、14、28)、(全3段：3/25)、

「ミュージアムで会いましょう」(3/28)

#### ・朝日新聞

- 3/23 「南薫造 穏やかな光の洋画」夕刊
- 6/19 「告知板 特別鑑賞」

#### ・山口新聞

- 4/7 イベント情報

#### ・読売新聞

- 4/23 「呉観光協会などマップ作製」
- 4/29 「南薫造 多彩な洋画」
- 6/22 「特別鑑賞あすまで」

#### ・毎日新聞

- 6/20 「街かど 特別鑑賞」

### (2) 雑誌等

『シック』3月15日号、『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』94号、『リビングひろしま』4月17日号、『美術の窓』4月25日号、『to you』5月号、『くれえばん』5月号、『つくりびと』5月1日号)、『広島交響楽団プログラム』4月18日・5月30日

### (3) WEB・SNSほか

『青山デザインフォーラム』3月9日～、『FASHION PRESS』3月11日～、『OBIKAKE』3月12日～、『美術館・博物館情報サイトアートジェンダ』3月中旬～、『ひろたび』3月31日～、『美術手帖』3月末～、『Walker plus』4月14日～、『JAF』4月下旬～、『ひろしま文化大百科』5月～、『ひろしま観光ナビ』5月～



## カタログ内容

「南薫造－自然を見つめた眼、瀬戸内へのまなざし」 藤崎綾

### 図版

#### 第1章 初期 美校時代

章解説 作品図版・作品解説／コラム「南薫造と音楽」

#### 第2章 留学時代

章解説 作品図版・作品解説／コラム「南薫造と水彩画」

#### 第3章 帰国後の活躍

章解説 作品図版・作品解説／コラム「アジアへのまなざし」

#### 第4章 晩年 郷里での活動

章解説 作品図版・作品解説／コラム「芸南文化同人会の活動と創作版画」

### 資料

「『微温的』な芸術 南薫造と団体展」 富田章

「南薫造《六月の日》とその前後」 森山秀子

### 年譜

### 主要参考文献

### 作品リスト

## 展覧会巡回先

東京ステーションギャラリー 令和3(2021)年2月20日(土)～4月11日(日)

久留米市美術館 令和3(2021)年7月3日(土)～8月29日(日)



## 2 藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>展 ―<sup>Ⓐ</sup>の変コレクション―

会 期／令和3(2021)年7月21日(水)～9月26日(日)  
主 催／広島県立美術館、広島テレビ、中国新聞社、イズミテクノ  
後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、  
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

特別協力／藤子スタジオ

協 力／藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>展製作委員会

企画協力／東京シティビュー

協 賛／富山県氷見市

広島展協賛／大田鋼管株式会社、広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団

協 力／テクノネット、クロステック

入 館 料／一 般 1,400(1,200)円

高・大学生 1,000( 800)円

小・中学生 700( 500)円

※( )内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／8,643人(17日間)

※68日間の会期のうち、コロナ感染拡大防止対策のため8月7日から閉幕まで休館。



藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>氏は、「忍者ハットリくん」、「怪物くん」などの少年向け作品や、「笑ゥせえるすまん」のようなブラックユーモアあふれる大人向け作品により、あらゆる世代を魅了してきた。本展では、<sup>Ⓐ</sup>氏の奇妙な世界を、原画や未公開作品などの「変コレクション」を通じて紹介し、同時に同氏の長年にわたる創作の秘密に迫った。

(本展担当者：角田 新)

### 主要関連番組

#### (1) テレビ

5/8～ 広島テレビCM(8/4～中止)

7/20 広島テレビ『テレビ派』前日中継(出演：中島尚樹氏、角田)

7/21 広島テレビ 開幕ニュース 昼のニュース、夕方のニュース(担当者出演：角田)

8/6 広島テレビ『てっぺん』(担当者出演：角田)

#### (2) ラジオ

7/27 エフエムおのみち『You Gotta Radio』(担当者出演：角田)

7/28 エフエムふくやま『みどりのオアシス』(担当者出演：角田)

## 主要関連記事

### (1) 新聞

#### ・中国新聞

- 5/8 社告
- 6/25 事業ガイド「独特で奇妙な世界体感」
- 7/14 特集
- 7/22 「心躍るマンガの世界」
- 7/23 事業ガイド「作品世界 忠実に再現」
- 7/26 「上・光るブラックな笑い」
- 7/28 「中・忍者活躍 即興で創作」
- 7/29 「下・漫画界の創始者集う」
- 8/4 「広島県立美術館 休館へ」

#### (新聞広告)

- (半5段：5/23、29、6/16、17、24)、(全5段：7/21開幕カラー)、
- (半3段：6/29、7/25)、(全3段：7/11、16)、「ミュージアムで会いましょう」(7/31)

### (2) 雑誌等

『公立学校共済組合会報誌』6月号、『フルハップまいんど』6月号、『ママンベール』6月号、『シツク』6月号、『アシタノ』6月16日、『to you』7月号、『ウエンディ広島』7月号、『くれえばん』7月号、『ウィンク』8月号、『美術の窓』8月号、『ふれあい』8月10日号、『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』94号、『Fun Fun Fun』8月号、『リビングひろしま』8月号

### (3) WEB・SNSほか

『美術館・博物館情報サイトアートジェンダ』5月下旬～、『Walker plus』6月下旬～、『ひろたび』7月上旬～、『JAF』7月下旬～

### (4) その他

- 5/30 ゆめカード
- 7/19～8/27 アニメ放映『ハットリくん&怪物くん』(広島テレビ、10:25～10:55)
- 7/21～ 広島銀行、広島産業会館、ふくやま産業交流会館、シャレオ中央広場  
(以上、サイネージ)



### 3 はるかなる古伊万里 400年の物語

会 期／令和3(2021)年10月8日(金)～12月5日(日)  
主 催／広島県立美術館、中国放送、イズミテクノ、中国新聞社  
後 援／広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、  
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz  
協 賛／大和証券株式会社、大田鋼管株式会社、広島県信用組合、  
一般財団法人ケンシン地域振興財団  
助 成／公益財団法人 花王芸術・科学財団  
特別協力／佐賀県立九州陶磁文化館  
入 館 料／一 般 1,400(1,200)円  
高・大学生 1,000( 800)円  
小・中学生 700( 500)円  
※( )内は前売・20人以上の団体料金  
入館者数／15,025人(59日間)



今からおよそ400年前に生まれ、その多彩なデザインと技術の高さにより、世界各地の人々を魅了した伊万里焼。なかでも17世紀後半に完成した繊細優美な柿右衛門様式と絢爛豪華な金襴手様式の作品は、ヨーロッパ王侯貴族の間で絶大な人気を博し、宮殿や邸宅に飾られた。本展では、ドイツの名窯マイセンの創始者で、熱狂的な磁器コレクターでもあったザクセン選帝侯アウグスト強王(在位1697-1733)の旧蔵品2点を含む輸出用古伊万里を中心に、草創期から最盛期、さらに近年評価が高まっている幕末明治期までを約135件により紹介した。

(本展担当者：岡地 智子)

#### 関連事業

- (1) 記念講演会(広島県立美術館友の会共催)  
日 時：10月9日(土) 13:30～15:00  
講 師：大橋 康二(佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問)  
演 題：「世界に羽ばたいた古伊万里 ―江戸から明治へ―」  
会 場：地階講堂  
参加者：103人
- (2) 美術講座「古伊万里の魅力」  
日 時：11月3日(水・祝) 13:30～15:00  
講 師：岡地 智子(当館学芸員)  
会 場：地階講堂  
参加者：95人



- (3) スライドトーク  
 日 時：10月22日(金)、11月12日(金)、19日(金)、12月3日(金)  
 各日11:00～、17:00～  
 講 師：岡地 智子(当館学芸員)  
 会 場：地階講堂  
 参加者：計92人
- (4) インスタギャラリートーク  
 日 時：10月26日(火)、11月16日(火)各日17:00～  
 講 師：岡地 智子(当館学芸員)  
 参加者：計140人
- (5) 陶器市 in 広島  
 日 時：11月20日(土)、21日(日)各日10:00～16:00  
 出展者：掛江祐造、心の工芸 陶樹庵、賞美堂本店、趣味のうつわ処 よう楽庵・たかす、中山陶和堂  
 会 場：エントランス
- (6) ワークショップ 有田焼 絵付け体験  
 日 時：11月26日(金)、27日(土)各日10:00～、14:00～  
 講 師：松尾 嘉之(松尾錦工房(有田町))  
 会 場：地階講堂  
 参加費：500円(別途送料)  
 参加者：計80人
- (7) 伊万里焼でティータイム！  
 期 間：10月8日(金)～12月5日(日)  
 会 場：3階ティールーム



#### 主要関連番組

- (1) テレビ
- 9/1～ RCCテレビCM
  - 10/8 RCC開幕ニュース
  - 10/12 RCC『イマなま!』中継
  - 10/29 NHK『ひるまえ直送便』
  - 11/19 RCC 来場者1万人 昼ニュース、夕方ニュース、中継 もみじライトアップ&縮景園陶器市
  - 11/20 RCCニュース 陶器市について
- (2) ラジオ
- 8/8～ RCCラジオCM
  - 9/12 RCCラジオ 紹介告知
  - 10/8 RCCラジオカー中継(担当者出演：岡地)
  - 10/9 RCC ラジオ『おひるーな』
  - 10/11 エフエムふくやま『月曜♪きらリズム』(担当者出演：岡地)
  - 10/18 広島エフエム『GOOD JOG』紹介告知
  - 10/26 エフエムおのみち『You Gotta Radio』(担当者出演：岡地)
  - 10/～ NHKラジオ お知らせコーナー(随時)
  - 11/12 RCCラジオ『本名正憲のおはようラジオ』(担当者出演：岡地)



## 主要関連記事

### (1) 新聞

#### ・中国新聞

- 8/9 前売り販売開始
- 10/5 特集
- 10/9 開幕翌日記事
- 10/29 事業ガイド
- 11/3 「欧州へ渡った伊万里焼」(寄稿)
- 11/19 1万人セレモニー

#### (新聞広告)

(半5段：8/9、9/3、7、16、10/3、24、30、11/20、12/2、5)、(半3段：9/17、10/14、15、19、27、28、30、31、11/9、13、20、12/5)、(全3段：8/18、9/26、10/15、24、25、26、27、31、11/4、6、13、14、19、21、23、12/5)、「ミュージアムで会いましょう」(10/9)

#### ・聖教新聞

- 11/12 広告

### (2) 雑誌等

『公立学校共済 福利ひろしま』8月号、『ウエンディ』9月号、『くれえばん』10月号、『TJHiroshima』10月号、『アシタノ(中国新聞折り込み)』10月15日、『広島交響楽団プログラム』10月15日、『経済春秋』11月号、『県民だより』11月号、『CHIC』11月号、『小さな蕾』11月号、『リビング広島』11月2日、『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』96号

### (3) WEB・SNSほか

『インターネットミュージアム』9月～、『美術館・博物館情報サイトアートジェンダ』9月～、『RCCイベントガイド』9月～、『青山デザインフォーラム』9月～、『ありたさんぽ』10月～、『JAFPLUS』10月～、『Get Hiroshima』10月～、『ひろたび』10月～、『ひろしま観光ナビ』10月～、『美術手帖』10月～、『FASHION PRESS』10月～、『Walker Plus』10月～

### (4) その他

- 10月～11月 広島銀行、広島産業会館、ふくやま産業交流会館(以上、サイネージ)
- 10/8～12/5 本通りNAVIA(街頭ビジョン)
- 10月～12月 LECT蔦屋家電 ブース(チラシ・関連書籍ブース設置)



## カタログ内容

ごあいさつ

### 図版

第1章 磁器の誕生、色絵の始まり

第2章 輸出時代の幕開け

COLUMN 1 海を渡った工芸品

第3章 世界的名窯への道 柿右衛門様式と金襴手様式

COLUMN 2 世界の色絵馬

COLUMN 3 アウグスト強王の夢とマイセン磁器の誕生

第4章 輸出時代の終わり、国内市場の拡大

第5章 ふたたび、世界へ 博覧会の時代

施設紹介 佐賀県立九州陶磁文化館

施設紹介 出島(国指定史跡 出島和蘭商館跡)

「はるかなる古伊万里 400年の物語」 岡地智子

オランダ東インド会社航路図(想定)

古伊万里を収集したヨーロッパの宮殿と主要窯業地

有田 窯・窯跡分布図(本展出品作品関連)

古伊万里関連年表

作品目録・作品解説

主要参考文献

## 4 大広重展 ―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界―

- 会 期／令和3(2021)年12月17日(金)～令和4(2022)年2月6日(日)  
※年末年始休館(12月25日～1月1日)
- 主 催／広島県立美術館、広島テレビ、イズミテクノ、中国新聞社  
後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、  
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7 MHz
- 協 賛／大田鋼管株式会社、広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団  
特別協力／中右コレクション  
企画協力／ステップ・イースト
- 入 館 料／一 般 1,200(1,000)円  
高・大学生 1,000( 800)円  
小・中学生 600( 400)円  
※( )内は前売・20人以上の団体料金
- 入館者数／5,487人(17日間)



※44日間の会期のうち、コロナ感染拡大防止対策のため1月11日から閉幕まで休館。

浮世絵風景画の名手、歌川広重(1797-1858)は天保4年(1833)頃に《東海道五拾三次》を発表して以降、木曾街道や近江八景、京都名所、最晩年の傑作《名所江戸百景》まで各地に生きる人々の暮らしや自然の移ろいを詩情豊かに描き、日本人のみならず世界をも魅了した。本展では《東海道五拾三次》など風景画の名作に旅の楽しさを思い出しつつ、美人画や役者絵、花鳥画、戯画や同時代絵師の「雪月花」にちなんだ名品なども加えて、広重による叙情の世界を約230点で紹介した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当初予定していた関連事業の一部を中止した。

(本展担当者：隅川 明宏)

### 関連事業

- (1) 記念講演会(広島県立美術館友の会共催)  
日 時：12月17日(金) 13:30～15:00  
講 師：中右 瑛(本展監修者／国際浮世絵学会常任理事)  
演 題：「広重 東海道五十三次のミステリー」  
会 場：地階講堂  
参加者：130人
- (2) スライドトーク  
日 時：1月7日(金) 10:30～11:00  
講 師：隅川 明宏(当館学芸員)  
会 場：地階講堂  
参加者：19人



- (3) ギャラリートーク  
 日 時：12月24日(金) 10：30～11：00  
 講 師：隅川 明宏(当館学芸員)  
 会 場：3階展示室  
 参加者：7人
- (4) インスタギャラリートーク  
 日 時：12月23日(木)、1月20日(木) 各日17：00～  
 講 師：隅川 明宏(当館学芸員)  
 参加者：計132人

#### 主要関連番組

- (1) テレビ  
 10/17～ 広島テレビCM  
 12/17 広島テレビ『テレビ派』開幕日中継  
 12/17 広島テレビ 開幕ニュース 昼のニュース、夕方のニュース(担当者出演：隅川)
- (2) ラジオ  
 12/22 エフエムふくやま(担当者出演：隅川)  
 1/4 エフエムおのみち(担当者出演：隅川)

#### 主要関連記事

- (1) 新聞
- ・中国新聞
    - 10/17 社告(開催告知)
    - 12/14 特集紙面
    - 12/18 開幕翌日
    - 1/9 休止のお知らせ
    - 1/27 展覧会終了について
  - ・山口新聞
    - 12/14
  - ・日刊広島
    - 1/1
- (2) 雑誌等



『リビング福山』11月18日号、『公立学校共済組合会報誌』12月号、『フルハップまいんど』12月号、『ウエンディ広島』12月号、『Tjhiroshima』12月号、『ふれあい』158号、『to you』12月号、『ホットベッパー』12月24日発行、『アシタノ』12月27日号、『TVガイド(中国新聞)』12月31日号、『経済春秋』12月号・1月号、『シック』1月号、『くれえばん』1月号、『ウイंक』1月号、『美術館ぴあ』1月号、『広島交響楽団プログラム』1月21日、『グランデひろしま』冬号、『旅の手帖』2月号、『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』96号

(3) WEB・SNSほか

『JAF』7月下旬～、『美術館・博物館情報サイトアートアジェンダ』10月下旬～、『ひろたび』10月下旬～、『青山デザインフォーラム』10月下旬～、『美術手帖』12月上旬～、『Walker Plus』12月中旬～、『サライ』12月中旬～、『Get Hiroshima』12月～

(4) その他

10/17～ 広島銀行、広島産業会館、ふくやま産業交流会館(以上、サイネージ)

カタログ内容

ごあいさつ

大広重展に寄せて 「東海道五十三次」と雪月花 中右瑛

第1章 名作・東海道五拾三次と五十三次名所図会

第2章 初期の美人画から風景画のはじまり—完成・円熟時代

第3章 多才な画風—花鳥画・戯画・物語絵

第4章 晩年の風景画—名所江戸百景・風景画の集大成

第5章 卓越した描写力の肉筆画

第6章 雪月花—絵師たちが描いた叙情の世界

絵師略伝 ・歌川広重 略年譜

・出展絵師 略年譜

作品目録

主要参考文献



## 5 第68回日本伝統工芸展広島展

- 会 期／令和4(2022)年2月16日(水)～3月6日(日)  
 主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、  
 NHK広島放送局、朝日新聞社  
 後 援／文化庁  
 協 賛／マツダ株式会社、大田鋼管株式会社、  
 株式会社ヒロタニ、株式会社ヒロテック  
 入 館 料／一 般 700円(500円)  
 高・大学生 400円(200円)  
 中学生以下無料  
 ※( )内は前売・20人以上の団体料金  
 入館者数／0人(0日)  
 ※開催日数19日間の全期間が臨時休館のため中止



日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を発展継承させることを目的に、昭和29年に創設された。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としている。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作5点を含む278点を展示。広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資するべく準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため臨時休館となり、開会は叶わなかった。なお、関連事業については、オンラインにより実施可能な場合は、開催形態を当初予定から一部変更して出来る限り実施した。

(本展事務担当者：藤崎 綾)

### 広島県在住入選者

- 陶 芸 木村 芳郎《碧釉漣文壺》  
 漆 芸 金城一国斎《切金螺鈿箱「初穂」》、高山 尚也《乾漆鉢「暁」》  
 諸工芸 栗根 仁志《七宝箱「雪明り」》、菅坂 安子《有線七宝花瓶「雨に咲く」》

### 関連事業

- (1) 記念講演会(広島県立美術館友の会共催)
  - ※オンライン開催(Zoomウェビナー)
  - 日 時：2月26日(土) 13:30～15:00
  - 講 師：唐澤昌宏(国立工芸館長)
  - 演 題：「伝統工芸と創作－作家の工芸を考える」
  - 参加者：52名
- (2) インスタギャラリートーク(出品作家による展示作品解説)
  - (\*は美術館と作家工房をつないだコラボ配信)



日 時	講師(内容)	参加者
2月18日(金) 13:30～	金城一国斎(漆芸)*	61名
2月24日(木) 17:00～	木村 芳郎(陶芸)*	52名
2月28日(月) 17:00～	高山 尚也(漆芸)	35名



3月3日(木) 17:00～ 菅坂 安子(七宝) 34名

3月4日(金) 17:00～ 粟根 仁志(七宝) 27名

(3) 子ども鑑賞コース 出張授業 ※オンライン開催(Zoom)

11月29日(月) 府中市立国府小学校4年生(53名) 今田 拓志(陶芸)

12月1日(水) 神石高原町立来見小学校4年生(14名) 金城一国齋(漆芸)

(4) 子ども鑑賞コース ワークショップ ※オンライン開催(Zoom)

日 時：1月22日(土) 13:30～16:00

講 師：福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)

内 容：「学芸員の仕事に挑戦しよう！」

参加者：4名

本展出品作品のうち、「天気」をテーマにした9作品の中から各自2～3点を選び、200字程度の展示用の作品解説を執筆した。解説はA4パネル化し、展示室に掲示した(展覧会開催中止につき未公開)。

(5) こども鑑賞ガイドブック、キャラクターカード作成

ガイドブック：A5判16ページ、3,000部

カード：名刺サイズ6種類、各1,000部



#### 主要関連番組

(1) テレビ

2/14 NHK 朝、昼、夕方ニュース(開幕準備)(担当者出演：藤崎)

#### 主要関連記事

(1) 新聞

・朝日新聞

1/23 「児童が作品解説に挑戦」

2/16 「伝統工芸展開幕を延期(まん延防止等重点措置のため)」

2/20 「伝統工芸展が中止・オンラインイベント開催」

2/28 「伝統工芸考えるオンライン講演(国立工芸館館長語る)」

(新聞広告)

広告→まん延防止等重点措置のため中止

折込チラシ→まん延防止等重点措置のため中止

(2) 雑誌等

『ウエンディ』(2月号)、『to you』(2月号)、『サンデー周南新聞』1月29日号

#### カタログ内容

趣旨

出品目録

出品作品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告

1「友禅」伝承者養成研究会、2「髹漆」伝承者養成研究会  
第68日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

## 展覧会巡回先

東京	令和3(2021)年9月15日(水)～9月27日(月)	日本橋三越本店
名古屋	令和3(2021)年9月29日(水)～10月4日(月)	名古屋栄三越
大阪	令和3(2021)年10月15日(金)～10月20日(水)	大阪高島屋
金沢	令和3(2021)年10月23日(土)～11月3日(水・祝)	石川県立美術館
京都	令和3(2021)年11月5日(金)～11月7日(日)	京都産業会館ホール
岡山	令和3(2021)年11月18日(木)～12月12日(日)	岡山県立美術館
高松	令和4(2022)年1月2日(日)～1月16日(日)	香川県立ミュージアム
仙台	令和4(2022)年1月20日(木)～1月25日(火)	仙台三越
福岡	令和4(2022)年2月2日(水)～2月7日(月)	福岡三越

# 所蔵作品展

当館では、5,000点を超える所蔵作品の中から、毎年、年4回の所蔵作品展を開催している。

春の所蔵作品展では、特別展「没後70年 南薫造」に連動し、南が活躍した時代の日本洋画や日本画、南の盟友・富本憲吉を始めとする民芸作家たち、南が留学したイギリスで開催された「シュルレアリスム国際展」を紹介した。

夏の所蔵作品展では、毎年、「サマーミュージアム」と題してファミリーが楽しめる展示を行っている。本年は「どうぶつ あつまれ！」をテーマに西洋美術・日本洋画・日本画・工芸・彫刻、それぞれのジャンルから多様に表現された動物作品を展示した。

秋の所蔵作品展では、「名品の森Ⅰ」と題し、当館コレクションという森を構成する作品群を展示室ごとのテーマで展示。「生誕130年 マックス・エルンスト」、「没後110年 小林千古」、「生誕120年 丸木位里・没後30年 船田玉樹」、「中央アジアの刺繍と衣装 #乙嫁たちの手仕事2」の4つの特集を組み、徳島県立近代美術館とふくやま美術館、個人からの借用作品も含めて紹介した。また、秋の所蔵作品展の展示後期からは、彫刻展示室内に新たに「ウェルカムギャラリー」を設けた(後述)。

冬の所蔵作品展では、「名品の森Ⅱ」として、「生誕140年 パブロ・ピカソ《フランコの夢と嘘》」、「没後50年 SL機関士画家 太田忠」、「生誕110年 塩出英雄の芸術」という周年に合わせた3つの特集のほか、今年度新たにコレクションに加わった作品のお披露目を行った。

展覧会こそ、予定通り4期分開催出来たものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により会期の殆どが閉室となったものも多い。そんな中、周年に合わせて多くの特集やミニガイドの発行、またコロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業AFFを活用したウェルカムギャラリーの開設、ジュニア鑑賞ガイドブックの発行と、積極的な活動を試みた一年だった。

(総括担当者：神内 有理)

## 春の所蔵作品展

### 「没後70年 南薫造」展にちなんで

令和3年4月29日(木・祝)～7月4日(日)

前期：4月29日(木・祝)～5月23日(日)

後期：5月25日(火)～7月4日(日)

※臨時休館：5月10日(月)～6月20日(日)

彫刻展示スペース 富本憲吉とバーナード・リーチ、板谷波山 ～南薫造と親交を結んだ陶芸家たち～

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	富本 憲吉	1886-1963	白磁壺	1928(昭和3)	高23.3 径29.0	磁器	1口		
2	富本 憲吉		壺		47.0×33.0	木版・紙	1幅		
3	バーナード・リーチ	1887-1979	鉄絵山樹文大壺	1950(昭和25)頃	高39.4 幅29.2	陶器	1口		
4	バーナード・リーチ		染付山水文壺	1926(大正15)頃	高19.8 胴径21.2	陶器	1口		
5	バーナード・リーチ		鉄紅絵角扁壺	1960(昭和35)	高19.0	陶器	1口		
6	バーナード・リーチ		灰釉柳描扁壺	1960(昭和35)	高28.2	陶器	1口		
7	板谷 波山	1872-1963	青磁鳳耳花瓶		高28.3 胴径13.1	青磁	1口		
8	板谷 波山		氷華磁草花文花瓶		高36.0 胴径15.7	白磁	1口		

第1室 ロンドン、国際シュルレアリスム展(1936)を想起して

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
9	マン・レイ	1890-1976	アンドレ・ブルトン/ソラリゼーション	1930	30.3×24.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
10	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	43.0×26.0	コロタイプ・紙	34面のうち各期2面		前期 後期
11	マックス・エルンスト		オイディプスⅠ	1934/1992鑄造	高62.0	ブロンズ	1点		
12	マックス・エルンスト		オイディプスⅡ	1934/1992鑄造	高66.0	ブロンズ	1点		

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
13	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
14	サルバドール・ダリ		マルドロールの歌	1934	32.5×25.0	エッチング・紙・挿画本	1冊		
15	パウル・クレー	1879-1940	何で走っているのだらう	1932	23.8×29.9	エッチング・紙	1面		前期
16	パウル・クレー		お金を数える老人	1929	29.7×23.7	エッチング・紙	1面		後期
17	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
18	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
19	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
20	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
21	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高30.5	ブロンズ・弦	1点		
22	ヘンリー・ムーア		彫刻のためのアイディア	1933	55.3×38.1	木炭・インク・淡彩・紙	1面		前期
23	ヘンリー・ムーア		ティルベリー・シェルター	1941	40.0×56.0	板・グワッシュ・クレヨンほか	1面		後期
24	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938/83鋳造	高47.5×24.0×23.0	ブロンズ	1点		
25	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19.0×30.5×22.8	大理石	1点		
26	マン・レイ	1890-1976	贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
27	マン・レイ		桃と葉	1931	25.5×30.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
28	マン・レイ		銅版プレス機の後ろのメレット・ オープンハイム インクのついた手	1933	36.9×28.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
29	マン・レイ		アリエのマルセル・デュシャン	1920	35.7×26.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
30	マン・レイ		偽りの涙	1930	22.0×29.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
31	マン・レイ		ドラ・マール	1936	28.5×21.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		

## 第2室 南薫造と交友の画家たち

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
32	小林 千古	1870-1911	女子正面	1900-1901(明治33-34)頃	90.0×76.0	油彩・画布	1面		
33	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	22.4×31.2	油彩・画布	1面		
34	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	22.4×31.2	油彩・画布	1面		
35	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	22.4×31.2	油彩・画布	1面		
36	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・画布	1面		
37	南 薫造	1883-1950	パリ郊外	1909(明治42)	34.0×45.8	油彩・画布	1面		
38	南 薫造		黄色い花	1909(明治42)	60.0×45.0	油彩・画布	1面		
39	南 薫造		農夫	1915(大正4)	116.7×80.3	油彩・画布	1面	京都御大典記念博覧会	
40	南 薫造		娘の横顔	1915(大正4)	60.0×45.0	油彩・画布	1面		
41	南 薫造		ゴルフ場(室蘭)	1938(昭和13)頃	37.5×45.2	油彩・板	1面		
42	南 薫造		帽子の女		40.7×30.1	油彩・板	1面		
43	南 薫造		田舎道		38.0×45.0	油彩・画布	1面		
44	南 薫造		ひげの男		60.6×48.0	油彩・画布	1面		
45	金山 平三	1883-1964	夕映えの諏訪湖	1919(大正8)	45.3×37.6	油彩・板	1面		
46	和田 三造	1883-1967	風景(パリ)	1909-1915(明治42-大正4)頃	62.5×37.5	油彩・画布	1面		
47	小林徳三郎	1884-1949	港のみえる風景		29.8×23.1	木版・紙	1面		前期
48	小林徳三郎		港		23.1×33.0	木版・紙	1面		後期
49	小林 和作	1888-1974	春の山	1967(昭和42)	80.0×100.0	油彩・画布	1面		
50	永瀬 義郎	1891-1978	東洋の旅I「上海所見」	1929(昭和4)	30.0×22.5	多色木版・紙	1面		前期
51	永瀬 義郎		花	1928(昭和3)	34.3×21.1	木版・紙	1面		後期
52	永瀬 義郎		浪漫(1)「浪漫」	1978(昭和53)	72.7×54.3	Nagase print'73・紙	1面		前期
53	永瀬 義郎		浪漫(4)「淡雪」	1978(昭和53)	72.7×54.3	Nagase print'73・紙	1面		後期
54	神田 周三	1894-1972	被爆後風景		56.6×84.0	油彩・紙	1面		
55	中西 利雄	1900-1948	婦人像	1940(昭和15)頃	63.0×49.5	水彩・紙	1面	第29回日本水彩画会展覧会	前期
56	中西 利雄		マドモアゼル嬢	1938(昭和13)	62.5×48.4	水彩・紙	1面		後期
57	朝井 清	1901-1968	人物のいる風景	1927(昭和2)	イメージ・サイズ10.0×13.5、 シート・サイズ23.5×18.5	木版・紙	1面		前期
58	朝井 清		真夏	1928(昭和3)	イメージ・サイズ23.6×32.6、 シート・サイズ24.2×33.1	木版・紙	1面		後期
59	朝井 清		蜥蜴	1946(昭和21)頃	イメージ・サイズ6.0×9.7、 シート・サイズ22.4×15.5	木版・紙	1面		前期
60	朝井 清		水辺の裸婦		イメージ・サイズ10.7×10.7、 シート・サイズ13.4×25.4	木版・紙	1面		後期
61	鬘 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
62	鬘 光		窓辺の花(百合)	1944(昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布	1面		
63	塚本 張夫	1907-1990	ロシアの少女(マダ嬢)	1936(昭和11)	130.3×193.9	油彩・画布	1面	第23回光風会展	
64	手島守之輔	1914-1945	ゆかたの少女	1938(昭和13)	133.0×93.0	油彩・画布	1面		
65	菅井 汲	1919-1996	NATIONAL ROUTE (ナショナル・ルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
66	野見山暎治	1920-	on y va(4)消えた景色	1988(昭和63)	82.0×61.0	石版・アルシュ紙	1面	パリ・グランパレ SAGA'88展	前期
67	野見山暎治		on y va(5)いつもの朝	1988(昭和63)	61.0×82.0	石版・アルシュ紙	1面	パリ・グランパレ SAGA'88展	前期
68	野見山暎治		on y va(6)太古の話	1988(昭和63)	82.0×61.0	石版・アルシュ紙	1面	パリ・グランパレ SAGA'88展	後期
69	野見山暎治		on y va(8)記憶	1988(昭和63)	61.0×82.0	石版・アルシュ紙	1面	パリ・グランパレ SAGA'88展	後期
70	新延 輝雄	1922-2012	母と子ら	1953(昭和28)	162.1×130.3	油彩・画布	1面	第9回日展	

### 第3室 南薫造の時代—官展の日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
71	南 薫造	1883-1950	富士	1925(大正14)頃	131.4×60.1	紙本墨画	1幅		前期
72	南 薫造		英国南モルトン村	1908(明治41)	124.0×32.0	紙本淡彩	1幅		後期
73	内島 暎園	1874-1917	異国人物図		199.1×142.0	絹本彩色	1面		
74	児玉 希望	1898-1971	晩春	1925(大正14)	122.5×433.0	絹本彩色	1隻	第6回帝展	
75	大村 廣陽	1891-1983	藤の花かけ	1926(大正15)頃	196.8×345.2	絹本彩色	1隻	第7回帝展	
76	片山 牧羊	1900-1937	おぼろ	1927(昭和2)	244.8×173.0	絹本彩色	1面	第8回帝展	
77	大村 廣陽	1891-1983	八重椿	1930(昭和5)	248.0×174.0	絹本彩色	1面	第11回帝展	
78	児玉 希望	1898-1971	山とよむ	1932(昭和7)	257.0×175.0	絹本彩色	1面	第13回帝展	
79	森谷南人子	1889-1981	初春閑村	1938(昭和13)	116.0×195.0	紙本彩色	1面	第2回新文展	
80	和高 節二	1898-1990	みやまの女	1931(昭和6)	221.5×228.6	紙本彩色	1隻	第11回帝展	
81	金島 桂華	1892-1974	牡丹	1948(昭和23)	各163.0×171.0	紙本彩色	1双	第4回日展	
82	奥田 元宋	1912-2003	待月	1949(昭和24)	130.4×204.2	絹本彩色	1面	第5回日展	
83	児玉 希望	1898-1971	室内	1952(昭和27)	171.0×131.0	絹本彩色	1面	第8回日展	
84	平山 郁夫	1930-2009	家路	1953(昭和28)	146.0×206.0	紙本彩色	1面	第38回院展	

### 第4室 河井寛次郎のしごと

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
85	河井寛次郎	1890-1966	青磁観音菩薩像	1918(大正7)	高33.1 幅20.3 奥行15.1	青磁	1体		
86	河井寛次郎		赤盒子		高4.2 径5.8	磁器	1合		
87	河井寛次郎		青瓷桃子餅	1923(大正12)	高10.8 口径9.5	青磁	1口		
88	河井寛次郎		トルコ青碗		高11.8 口径17.8	陶器	1口		
89	河井寛次郎		紫紅六角鉢		高7.0 長径23.7	陶器	1口		
90	河井寛次郎		蓋方壺		高18.4 一辺11.4	陶器	1合		
91	河井寛次郎		練上鉢		高8.6 径21.8	陶器	1口		
92	河井寛次郎		四足扁壺		高26.3 口径11.0	陶器	1口		
93	河井寛次郎		黄釉流描き皿		高7.7 34.2×29.2	陶器	1枚		
94	河井寛次郎		呉州丸紋鉢		高8.1 径39.5	陶器	1口		
95	河井寛次郎		辰砂蠟抜魚文鉢		高13.4 径42.2	陶器	1口		
96	河井寛次郎		辰砂筒描扁壺		高15.9 12.0×19.6	陶器	1口		
97	河井寛次郎		泥刷毛目呉州花瓶		高20.5 長径19.5	陶器	1口		
98	河井寛次郎		呉州硯		高6.8 22.8×12.4	陶器	1面		
99	河井寛次郎		鉄薬水滴		高4.7 10.7×6.0	陶器	1点		
100	河井寛次郎		辰砂花碗	1949(昭和24)	高8.7 径15.1	陶器	1口		
101	河井寛次郎		呉州花碗		高8.7 口径13.7	陶器	1口		
102	河井寛次郎		呉州草文碗		高8.7 口径13.7	陶器	1口		
103	河井寛次郎		青葉菱花食籠		高15.5 18.5×18.3	陶器	1合		
104	河井寛次郎		玉手食籠		高13.5 長径16.3	陶器	1合		
105	河井寛次郎		鉄辰砂盃		高5.1 口径5.5	陶器	3口		
106	河井寛次郎		白鉄薬土瓶		高11.8	陶器	1口		
107	河井寛次郎		辰砂文字陶板		32.6×23.1	陶器	1面		
108	河井寛次郎		飛躍成就花陶板		32.4×23.1	陶器	1面		
109	河井寛次郎		辰砂菱花扁壺		高20.7 18.0×12.4	陶器	1口		
110	河井寛次郎		辰砂菱花扁壺		高25.3	陶器	1口		
111	河井寛次郎		三彩手壺		高25.6 17.1×13.0	陶器	1口		
112	浜田 庄司	1894-1978	黒釉錆流描大鉢	昭和30年代後半	高13.8 径47.0	陶器	1口		
113	黒田 辰秋	1904-1982	朱塗円座卓		高30.0 径84.0	木・漆	1基		
114			『工藝』 第13号	1932(昭和7)	15.0×22.5	紙・因州木綿	1冊		
115			『工藝』 第25号	1933(昭和8)	15.0×22.5	紙・木綿・緯緋	1冊		

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
116			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
117			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
118			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		

## 関連事業

### (1) 対話型鑑賞

日 時：5月29日(土) 14:00～／オンライン(Zoom)

ナビゲーター：森 万由子(当館学芸員)

参加者：6人

### (2) インスタギャラリートーク

#### ① 富本憲吉とバーナード・リーチ、板谷波山 ～南薫造と親交を結んだ陶芸家たち～

日 時：5月11日(火) 16:30～

講 師：岡地 智子(当館学芸員)

#### ② 南薫造と交友の画家たち

日 時：5月25日(火) 16:30～

講 師：角田 新(当館主任学芸員)

参加者：①43人 ②45人





夏の所蔵作品展

サマーミュージアム どうぶつ あつまれ!

令和3年7月8日(木)～9月12日(日)  
 前期：7月8日(木)～8月8日(日)  
 後期：8月10日(火)～9月12日(日)  
 ※臨時休館：8月7日(土)～9月12日(日)

彫刻展示スペース どうぶつ あつまれ!

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	圓鏝 勝三	1905-2003	途上	1941(昭和16)(平成6鑄造)	高169×82×51.5	ブロンズ	1体		
2	圓鏝 勝三		こかいげ	1974(昭和49)	高123.5×77×48	ブロンズ	1体	第6回改組日展	
3	圓鏝 勝三		月夜の僧	1985(昭和60)	高88×97×90	木・銅板・彩色	1体	第17回改組日展	
4	山本 常一	1910-1994	夜の標	1975(昭和50)	高43×20.8×21.4	ブロンズ	1体	第39回新制作協会展	
5	小平 胖可	1944-2003	卯月飛騨	1998(平成10)	高162×58×32	樹脂	1体	第74回白日会展	
6	三沢 厚彦	1961-	Animal 2003-06	2003(平成15)	高70×37×162	木・彩色	1体		
7	三沢 厚彦		Animal 2006-05	2006(平成18)	高40×29×41	木・彩色	1体		
8	三沢 厚彦		Animal 2008-04	2008(平成20)	高48×45×80	木・彩色	1体		
9	三沢 厚彦		Dog 2009-02	2009(平成21)	高42.8×14.5×42	木・彩色	1体		

第1室 サルバドール・ダリ、所蔵品全公開!

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
10	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
11	サルバドール・ダリ		マルドロールの歌	1934	32.5×25.0	エッチング・紙・挿画本	30面		
12	マン・レイ	1890-1976	サルバドール・ダリ	1921	28.7×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
13	マン・レイ		解剖台の上でミンとこうもり傘が偶然 出会ったように美しい	1933	24.9×37.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
14	マン・レイ		シュレリアリスム展におけるサルバドール・ ダリのオブジェ	1936	26.0×21.2	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		

第2室 動物たちをさがそう

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
15	小林 千古	1870-1911	佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	24.2×31.5	油彩・画布	1面		
16	南 薫造	1883-1950	印度民家図	1916(大正5)頃	48.8×69.0	墨・紙	1幅		前期
17	南 薫造		印度ベナーレス郊外景	1920(大正9)	58.7×68.7	墨・紙	1幅		後期
18	小林徳三郎	1884-1949	金魚を見る子供	1929(昭和4)	45.6×53.0	油彩・画布	1面		
19	須田国太郎	1891-1961	るりみつどり	1956(昭和31)	65.0×91.0	油彩・画布	1面	第24回独立展	
20	名井 萬亀	1896-1976	地獄の港	1958(昭和33)	50.1×65.2	油彩・画布	1面	第3回現代日本美術展	
21	山路 商	1903-1944	犬とかたつむり	1937(昭和12)	80.1×116.4	油彩・画布	1面		
22	巖 光	1907-1946	鶯	1937(昭和12)	17.0×12.2	鉛筆・紙	1面		前期
23	巖 光		牛	1941(昭和16)	15.4×28.3	墨・紙	1面		前期
24	巖 光		かぶと虫	1942(昭和17)頃	18.0×71.0	墨・紙	1面		後期
25	太田 忠	1908-1971	池のある風景	1956(昭和31)	162.1×130.3	油彩・画布	1面	第2回現代日本美術展	
26	土屋 幸夫	1911-1996	落椿	1936(昭和11)	31.9×40.8	油彩・画布	1面		
27	寺田 政明	1912-1989	生と死の凝視	1950(昭和25)	91.3×116.5	油彩・画布	1面	第14回自由美術展	
28	寺田 政明		二つの道	1954(昭和29)	116.9×91.2	油彩・画布	1面	第18回自由美術展	
29	水船 六洲	1912-1980	旗(Flag)	1960(昭和35)	43.8×65.0	木版・紙	1面		
30	水船 六洲		独りだけの唄	1960(昭和35)頃	33.0×27.0	木版・紙	1面		
31	水船 六洲		鳥の椅子(Bird Chair)	1966(昭和41)	41.0×32.5	木版・紙	1面		
32	桂 ゆき	1913-1991	土	1939(昭和14)	61.0×50.0	油彩・画布	1面		
33	菅井 汲	1919-1996	星座Ⅰ(牡羊座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
34	菅井 汲		星座Ⅱ(牡牛座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
35	菅井 汲		星座Ⅲ(双子座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
36	菅井 汲		星座Ⅳ(蟹座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
37	菅井 汲		星座Ⅴ(獅子座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
38	菅井 汲		星座Ⅵ(乙女座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
39	菅井 汲		星座Ⅶ(天秤座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
40	菅井 汲		星座Ⅷ(さそり座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
41	菅井 汲		星座Ⅸ(射手座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
42	菅井 汲		星座Ⅹ(山羊座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
43	菅井 汲		星座XI(水瓶座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
44	菅井 汲		星座XII(魚座)	1975(昭和50)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙	1面		
45	吉原 英雄	1931-2007	版画集『ペットショップ』より ガラスの向う側	1979(昭和54)	35.7×29.0	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1面		
46	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より 浴室の鳥	1979(昭和54)	36.0×22.0	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1面		
47	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より プチペット	1979(昭和54)	35.7×29.0	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1面		
48	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より ブルドックの朝食	1979(昭和54)	18.0×42.5	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1面		
49	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より ソファの上	1979(昭和54)	29.3×35.8	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1面		
50	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より 蛾の観察	1979(昭和54)	22.2×36.5	メゾチント・エッチング・紙	1面		
51	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より 白いとまり木	1979(昭和54)	46.5×38.0	リトグラフ・紙	1面		
52	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より 短毛犬	1979(昭和54)	46.1×38.5	リトグラフ・紙	1面		
53	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より 三匹の羊	1979(昭和54)	46.5×38.0	リトグラフ・紙	1面		
54	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より ゴールド・メタリスト	1979(昭和54)	46.2×38.1	リトグラフ・紙	1面		
55	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より ランチ・タイム	1979(昭和54)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1面		
56	吉原 英雄		版画集『ペットショップ』より デューラーの鬼	1979(昭和54)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1面		

### 第3室 どうぶつさまざま—お庭の鯉から伝説の生き物まで

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
57			花鳥図	16-17世紀	151.0×348.0	紙本彩色	1隻		後期
58	望月 玉蟾	1692-1755	松下猛虎図		117.0×55.2	絹本墨画	1幅		後期
59	望月 玉蟾		維摩居士図		106.0×44.0	紙本墨画	1幅		前期
60	宋 紫石	1715-1786	柳下白鷄図	1769(明和16)	112.6×44.5	絹本彩色	1幅		後期
61	岡 岷山	1734-1806	梅花小禽図		41.9×33.2	絹本彩色	1面		後期
62	森 狙仙	1747-1821	猿図		41.9×33.2	絹本彩色	1面		前期
63	東 東洋	1755-1839	十六羅漢図	1785(天明5)	111.6×55.3	絹本墨画	1幅		前期
64	岸 竹堂	1826-1897	月下狸図	1860(万延元)	142.9×69.5	絹本墨画淡彩	1幅		前期
65	橋本 雅邦	1835-1908	竜虎争気		各126.0×50.0	絹本墨画淡彩	2幅		後期
66	渡辺 省亭	1851-1918	鯉魚図	1905(明治38)	各167.0×86.1	紙本墨画淡彩	4面		
67	田中 頼璋	1866-1940	庭園	1908(明治41)	128.0×56.0	絹本彩色	1幅		
68	梶田 半古	1870-1917	月下鶉図		135.0×60.6	絹本彩色	1幅		前期
69	丸木 スマ	1875-1956	動物	1952(昭和27)	90.0×94.0	紙本彩色	1幅	童画展	
70	大村 廣陽	1891-1983	南苑	1928(昭和13)	212.0×158.0	絹本彩色	1面	第9回帝展	
71	渡辺 雲僊	1892-1972	金鱗玉藻	1929(昭和4)	180.0×96.0	絹本彩色	1幅	昭和美術展覧会	
72	金鳥 桂華	1892-1974	水の月	1950(昭和25)	88.0×124.0	紙本彩色	1面	第6回日展	
73	片田 天玲	1897-1985	二月	1966(昭和41)	160.0×360.0	紙本彩色	1隻	第6回日本南画院	
74	児玉 希望	1898-1971	涅槃	1963(昭和38)	156.0×150.5	絹本彩色	1面	第6回新日展	
75	児玉 希望		猿猴捉月	1933(昭和8)	255.0×105.0	絹本彩色	1面	第14回帝展	
76	和高 節二	1898-1990	仔牛	1935(昭和10)	65.0×91.0	紙本墨画淡彩	1面		
77	和高 節二		ひなた	1955(昭和30)	83.0×96.4	紙本彩色	1面	第7回広島県美術展	
78	綿谷行四郎	1900-1977	冠鶴	1965(昭和40)	211.5×175.5	紙本彩色	1面	第50回院展	
79	奥田 元宋	1912-2003	筒石	1957(昭和32)	123.0×47.0	麻布彩色	1面	第10回日本美術協会展	
80	平山 郁夫	1930-2009	広島生変図	1979(昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	1隻	第64回院展	
81	上村 淳之	1933-	秋汀		59.5×49.0	紙本彩色	1面		

### 第4室 三代金城一國齋 広島の漆工芸・高盛絵

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
82	三代金城一國齋	1829-1915	獅子牡丹高盛絵菓子器	1886(明治19)	総高16.5 19.0×19.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
83	三代金城一國齋		牡丹高盛絵丸盆	1896(明治29)	径24.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1枚		
84	三代金城一國齋		高盛絵四季之花棗	1892(明治25)	高6.3 径5.8	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
85	三代金城一國齋		菊雲鶴文食籠	1902(明治35)	高13.7 径22.3	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
86	三代金城一國齋		インゲン豆高盛絵長丸盆	1903(明治36)	高4.3 24.0×44.2	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
87	三代金城一國齋		白蓮花に蝶高盛絵角盆	1905(明治38)	35.5×35.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1枚		
88	三代金城一國齋		唐子高盛絵茶合	1905(明治38)	高2.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1点		
89	三代金城一國齋		葦によしきり高盛絵香筒	1905(明治38)	長30.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
90	三代金城一國齋		高盛絵蛤香合	1907(明治40)	7.6×9.6	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
91	三代金城一國齋		虫に蔓草高盛絵会席盆	1908(明治41)	径33.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	5枚1組		
92	三代金城一國齋		獅子に牡丹高盛絵菓子器	1912(明治45)	径20.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
93	三代金城一國斎		松に鶴高盛絵香合	1912(大正元)	径7.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
94	三代金城一國斎		道中茶箱	1913(大正2)		木・竹・漆・堆彩漆・高盛絵	1組		
95	三代金城一國斎		堆彩漆草花図四方膳	1914(大正3)	高3.5 38.5×38.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	5枚1組		
96	三代金城一國斎		堆彩漆草花図四方膳	1914(大正3)	高3.5 38.5×38.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	5枚1組		
97	三代金城一國斎		へちま高盛絵煙管入 付煙草入		(煙管入)幅3.0 長20.0 (煙草入)6.2×10.2	竹・漆・堆彩漆・高盛絵・珊瑚・刺繍	1組		
98	三代金城一國斎		ホタル高盛絵線香入		長18.3 径2.2	竹・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
99	三代金城一國斎		バツタ高盛絵煙管入		長18.4 3.0×1.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
100	三代金城一國斎		蜂に仏手柑高盛絵印籠付根付		(印籠)高6.3×5.3 (根付)径3.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1組		
101	鯉城 政廣		高塗果蟲菓子盆		高2.5 径34.2	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1枚		
102	鯉城 政廣		堆彩漆菓子鉢 付取箸		(菓子鉢)高3.0 径23.8 (取箸)長26.5	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1枚・1膳		
103	五代金城一國斎	1906-1991	高盛絵四季寄花硯箱	1980(昭和55)	高4.7 27.0×23.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
104	五代金城一國斎		高盛絵鉄線花に蜂画香筒	1983(昭和58)	長34.0 径2.5	竹・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
105			高盛絵の道具類	20世紀			1式	金城一國斎使用・個人蔵	
106			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
107			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
108			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		

## 関連事業

### (1) リレートーク

日 時：7月30日(金) 15:00～15:45

講 師：角田 新(当館主任学芸員)、山下 寿水(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)

会 場：2階展示室(彫刻展示スペース、第1室、第2室)

参加者：7人

### (2) 対話型鑑賞

日 時：9月4日(土) 14:00～/オンライン(Zoom)

ナビゲーター：森 万由子(当館学芸員)

参加者：4人

### (3) インスタギャラリートーク

#### ① どうぶつさまざまーお庭の鯉から伝説の生き物まで

日 時：7月15日(木) 17:00～

講 師：隅川 明宏(当館学芸員)

#### ② 三代金城一國斎 広島漆工芸・高盛絵

日 時：8月12日(木) 16:00～

講 師：岡地 智子(当館学芸員)

参加者：①46人 ②50人



## ミニガイドの発行

広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑮『三代金城一國斎 広島漆工芸・高盛絵』を作成、来館者に無料配布

## 関連報道・記事

### (1) 雑誌等

『ウエディ』8月号、『くれえばん』8月号、『リビング広島』、『広島交響楽団プログラム』7月9日

### (2) WEB・SNSほか

『ブンカッキーネットひろしま オンラインマガジン』(対話型鑑賞「サマーミュージアム どうぶつ あつまれ!」)8月14日～

# 秋の所蔵作品展 名品の森I

令和3年9月16日(木)～12月24日(金)  
 前期：10月1日(金)～11月7日(日)  
 後期：11月9日(火)～12月24日(金)  
 ※臨時休館：9月16日(木)～9月30日(木)

## 彫刻展示スペース つながるかたち ～ 西洋の彫刻と日本の陶芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	北大路魯山人	1883-1959	織部魚鱗文俎板角鉢	1950(昭和25)	高4.9 20.0×43.5	陶器	1枚		前期
2	金重 陶陽	1896-1967	備前耳付水指		高21.8 径21.9	陶器	1合		前期
3	八木 一夫	1918-1979	ブラックエコー	1978(昭和53)	高52.0 13.5×23.0、 高40.0 13.5×15.0	黒陶・鉛板	1組		前期
4	山田 光	1924-2001	緑釉「塔」	1960(昭和35)	高63.3 9.0×14.0	陶器・木	1点		前期
5	鈴木 治	1926-2001	ロッキングバード	1973(昭和48)	高43.0 23.0×32.0	陶器	1点		前期
6	林 康夫	1928-	作品	1954(昭和29)	高45.0 38.0×30.0	陶器	1点		前期
7	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14	ブロンズ	1点		前期
8	アンリ・ローランス	1885-1954	イヤリングをつけた女の顔	1921	高36.9×12.8×11.6	テラコッタ	1点		前期
9	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高30.5	ブロンズ・弦	1点		前期
10	パーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		前期
11	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944/83-84铸造	高125.7×62.2×22.8	ブロンズ	1点		前期

## ウェルカムギャラリー

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
12	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913(大正2)	高74.5	木	1軀	第7回文展	後期
13	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	後期
14	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	後期
15	巖 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		後期
16	奥田 元宋	1912-2003	秋簪真如	1977(昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	第5回日展	後期
17	児玉 希望	1898-1971	暮春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面	第11回帝展(特選)	後期
18	平山 郁夫	1930-2009	受胎霊夢	1962(昭和37)	179.5×178.8	紙本彩色	1面	第9回改組日展	後期
19	圓鏝 勝三	1905-2003	月夜の僧	1985(昭和60)	高88×97×90	木・銅板・彩色	1軀	第17回改組日展	後期
20	六角 紫水	1867-1950	刀筆天部奏楽方盆	1927(昭和2)	高2.2 19.6×19.6	木・漆・漆絵・沈金・彫刻	1枚	第8回帝展	後期
21	清水 南山	1875-1948	波に籠文水瓶	1937(昭和12)	高33.0 径13.0	銀・鍍金・彫金	1点	第11回新文展	後期
22	今井 政之	1930-	釉彩海老飾皿	1973(昭和48)	径52.5 高9.1	陶器	1枚		後期
23	奥田小由女	1936-	孤愁	1975(昭和50)	33.5×82.0×44.5	木・桐粉・胡粉	1体	第7回改組日展	後期

## 第1室 マックス・エルンストー自然の発見

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
24	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938/83铸造	高47.5×24.0×23.0	ブロンズ	1点		
25	ジョルジョ・デ・キリコ	1888-1978	広場での二人の哲学者の遭遇	1972	80.0×60.0	油彩・画布	1面	ふくやま美術館蔵	
26	マックス・エルンスト	1891-1976	流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ	1919	45.5×33.0	リトグラフ・紙 版画集	9面のうち 各期5面		前期 後期
27	マックス・エルンスト		博物誌	1926	43.0×26.0	コロタイプ・紙 版画集	34面のうち 各期15面		前期 後期
28	マックス・エルンスト		オイディプスI	1934/1992铸造	高62.0×29.0×19.0	ブロンズ	1点		
29	マックス・エルンスト		オイディプスII	1934/1992铸造	高66.0×22.0×17.0	ブロンズ	1点		
30	マックス・エルンスト		鳩のように	1955	61.0×50.0	油彩・板	1面	徳島県立近代美術館蔵	
31	マックス・エルンスト		兵士のバラードII	1972	31.5×22.7	リトグラフ・紙	1面	徳島県立近代美術館蔵	前期
32	マックス・エルンスト		兵士のバラードXIII	1972	33.3×18.2	リトグラフ・紙	1面	徳島県立近代美術館蔵	後期
33	マックス・エルンスト		兵士のバラードXIV	1972	27.3×22.0	リトグラフ・紙	1面	徳島県立近代美術館蔵	前期
34	マックス・エルンスト		兵士のバラードXXII	1972	35.8×26.3	リトグラフ・紙	1面	徳島県立近代美術館蔵	後期
35	マックス・エルンスト		兵士のバラードXXIII	1972	24.0×18.2	リトグラフ・紙	1面	徳島県立近代美術館蔵	後期
36	マックス・エルンスト		兵士のバラードXXXI	1972	36.6×26.6	リトグラフ・紙	1面	徳島県立近代美術館蔵	前期
37	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

## 第2室 没後110年 小林千古ーアメリカで出会った夢

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
38	小林 千古	1870-1911	自画像	1903-1905(明治36-38)頃	67.5×58.0	油彩・画布	1面		
39	小林 千古		石膏像	1906(明治39)	64.0×48.0	コンテ・紙	1面		前期

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
40	小林 千古		男子裸立像	1896(明治29)	63.0×48.0	コンテ・紙	1面		後期
41	小林 千古		子供石膏像	1895(明治28)	62.0×48.0	コンテ・紙	1面		前期
42	小林 千古		子供石膏像	1895(明治28)	61.0×48.5	鉛筆・紙	1面		後期
43	小林 千古		男子裸立像	1895(明治28)	62.5×47.5	コンテ・紙	1面		前期
44	小林 千古		子供石膏像	1895(明治28)	62.5×47.5	鉛筆・紙	1面		後期
45	小林 千古		男子裸立像	1896(明治29)	63.0×48.0	コンテ・紙	1面		後期
46	小林 千古		婦人裸背面立像	1896(明治29)	63.0×48.0	鉛筆・紙	1面		後期
47	小林 千古		男子裸立像	1896(明治29)	63.0×48.0	コンテ・紙	1面		前期
48	小林 千古		男子裸立像	1896(明治29)	63.0×48.0	鉛筆・紙	1面		後期
49	小林 千古		男子像(斜)	1894(明治27)	45.5×36.0	コンテ・紙	1面		前期
50	小林 千古		婦人像	1894(明治27)	46.0×36.0	鉛筆・紙	1面		後期
51	小林 千古		婦人像(正面)	1893(明治26)	47.5×40.0	コンテ・紙	1面		前期
52	小林 千古		婦人像	1893(明治26)	49.5×38.0	鉛筆・紙	1面		後期
53	小林 千古		婦人像	1893(明治26)	50.0×39.5	コンテ・紙	1面		前期
54	小林 千古		婦人像(横)	1893(明治26)	62.5×47.5	鉛筆・紙	1面		後期
55	小林 千古		男性裸体座像	1897(明治30)	68.0×48.0	油彩・画布	1面		
56	小林 千古		男性裸体背面立像	1897(明治30)	89.0×64.0	油彩・画布	1面		
57	小林 千古		裸婦正面立像	1897(明治30)	90.0×62.0	油彩・画布	1面		
58	小林 千古		母ワキ肖像	1899(明治32)頃	68.0×51.0	油彩・画布	1面		
59	小林 千古		女子正面	1900-1901(明治33-34)頃	90.0×76.0	油彩・画布	1面		
60	小林 千古		茶器と梅花	1903(明治36)	18.5×65.5	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
61	小林 千古		静物	1900-1901(明治33-34)頃	23.3×32.5	油彩・板	1面		
62	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	31.2×24.0	油彩・画布	1面		
63	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	22.4×31.2	油彩・画布	1面		
64	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・板	1面		
65	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・厚紙	1面		
66	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	11.6×16.8	油彩・厚紙	1面		
67	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	11.9×17.8	油彩・画布	1面		
68	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	16.6×12.0	油彩・板	1面		
69	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	11.7×17.2	油彩・板	1面		
70	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	16.6×12.0	油彩・板	1面		
71	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	22.4×31.2	油彩・画布	1面		
72	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	24.0×33.0	油彩・画布	1面		
73	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	11.6×18.0	油彩・画布	1面		
74	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・画布	1面		
75	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	11.9×17.8	油彩・画布	1面		
76	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	16.6×12.0	油彩・厚紙	1面		
77	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	24.2×31.5	油彩・画布	1面		
78	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・画布	1面		
79	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	22.7×30.6	油彩・画布	1面		
80	小林 千古		やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面		
81	小林 千古		静物画		37.5×47.0	油彩・画布	1面		
82	小林 千古		巖島大谷	1903-1904(明治36-37)頃	29.5×22.5	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
83	小林 千古		巖島大元公園	1903(明治36)	46.2×38.4	油彩・画布	1面		
84	小林 千古		婦人座像	1904(明治37)	61.0×49.0	油彩・画布	1面		
85	小林 千古		習作		145.5×107.5	油彩・画布	1面		
86	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-1901(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・板	1面		
87	小林 千古		婦人像上半身	1901(明治34)	65.0×50.0	パステル・紙	1面		
88	小林 千古		装飾画下絵	1909(明治42)	48.2×65.0	パステル・紙	1面		
89	小林 千古		婦人像半身	1901(明治34)	65.0×50.0	パステル・紙	1面		
90	南 薫造	1883-1950	五境	1916(大正5)	115.0×248.0(310.0)	油彩・画布	4面		
91	巖 光	1907-1946	屋根の見える風景	1929(昭和14)	50.6×63.8	油彩・画布	1面		
92	菅井 汲	1919-1996	NATIONAL ROUTE (ナショナル・ルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		



第3室 丸木位里と船田玉樹 - 芸州美術協会の仲間

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
93	丸木 位里	1901-1995	柿	1936(昭和11)	166.5×181.0	紙本彩色	1隻	個人蔵・第1回芸州美術協会展	
94	丸木 位里		三段峡	1937(昭和12)	33.6×43.8	紙本彩色	1面	個人蔵・芸州美術協会 藤崎将兵士慰問会展	
95	船田 玉樹	1912-1991	櫻の落葉	1936(昭和11)	24.0×52.0	紙本金地彩色	1面	個人蔵・第1回芸州美術協会展	
96	丸木 位里	1901-1995	池	1936(昭和11)	150.0×205.0	紙本彩色	1面	第8回青龍社展・ 第1回芸州美術協会展	
97	丸木 位里		ラクダ	1938(昭和13)	171.0×183.0	紙本彩色	1隻	第6回春の青龍社展	
98	丸木 位里		雨乞	1939(昭和14)	172.0×140.0	紙本彩色	1面	第1回丸木位里・ 船田玉樹個展	
99	丸木 位里		不動	1941(昭和16)	213.0×106.0	紙本彩色	1面	第4回百橋英逸・丸木位里・ 船田玉樹三人展	
100	船田 玉樹	1912-1991	日輪	1940(昭和15)	各181.0×181.0	紙本彩色	1双	紀元二千六百年奉 祝日本画展(入選)	
101	丸木 位里	1901-1995	柳暗	1941(昭和16)	205.0×91.0	紙本墨画	1面	第2回美術文化協 会展	
102	丸木 位里		牛	1942(昭和17)	93.0×124.0	紙本墨画	1面	第3回美術文化協 会展	
103	丸木 位里		竹林	1964(昭和39)	各210.0×270.0	紙本墨画	1双	第6回現代日本美 術展	
104	船田 玉樹	1912-1991	春の鐘	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面	第35回院展	
105	船田 玉樹		すすきの原の秋	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面	ソ連における現代 日本美術展	
106	船田 玉樹		雪の灯ともし頃	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面	ソ連における現代 日本美術展	
107	船田 玉樹		残照	1956(昭和31)	236.0×206.0	紙本彩色	1面	第41回院展	
108	船田 玉樹		秋意	1957(昭和32)	207.0×161.0	紙本彩色	1面	第42回院展	
109	船田 玉樹		山霊出雨	1979(昭和54)	27.0×23.8	紙本墨画	1枚		前期
110	船田 玉樹		山霊出雨	1988(昭和63)	26.8×23.8	紙本墨画	1枚		後期
111	船田 玉樹		山家	1989(平成元)	27.0×24.0	紙本墨画	1枚		前期
112	船田 玉樹		深山幽屋		26.8×23.9	紙本墨画	1枚		後期
113	船田 玉樹		松		27.0×23.8	紙本墨画	1枚		前期
114	船田 玉樹		山嶺		26.8×23.8	紙本墨画	1枚		後期
115	船田 玉樹		谷間の秋		26.8×23.8	紙本墨画彩色	1枚		前期
116	船田 玉樹		雪		26.7×24.0	紙本墨画彩色	1枚		後期
117	船田 玉樹		雪		27.0×23.8	紙本墨画	1枚		
118	船田 玉樹		雪		23.7×27.0	紙本墨画	1枚		
119	船田 玉樹		滝		57.8×45.4	絹本墨画金泥	1幅		
120	船田 玉樹		山嶺	1986(昭和61)	46.3×54.3	絹本墨画	1幅		
121	平山 郁夫	1930-2009	巖島		44.0×49.0	紙本彩色	1面		

第4室 中央アジアの刺繍と衣装 #乙嫁たちの手仕事2

No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
122	カルシ		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	210.0×150.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
123	シャフリシャブス		刺繍布(スザニ)	1870年頃	240.0×166.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
124	ヌラタ		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	214.0×148.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
125	ヌラタ		刺繍布(スザニ)	19世紀前半	253.0×172.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
126	サマルカンド		刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀中期	259.0×168.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
127	ブハラ		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	206.0×152.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
128	ブハラ		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	217.0×150.0	(表)木綿・絹糸・刺繍 (裏)経:絹・緯:綿・木綿・経緋	1枚		
129	ブハラ		刺繍布(スザニ)	19世紀中期	224.0×148.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
130	ブハラ		刺繍布(スザニ)	19世紀前半	244.0×190.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
131	ウズベク人		女性用外衣(チャパン)	19世紀末	125.8×165.8	経:絹・緯:綿・経緋	1領		前期
132	ウズベク人		男性用外衣(チャパン)	1900年頃	116.9×187.7	経:絹・緯:綿・経緋・裏に 木版木綿・プリント木綿	1領		前期
133	ウズベク人		男性用外衣(チャパン)	1900年頃	143.5×212.0	経:絹・緯:綿・経緋	1領		後期
134	ウズベク人		男性用外衣(チャパン)	20世紀初頭	141.0×195.3	経:絹・緯:綿・経緋	1領		後期
135	テケ族 トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈126.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		後期
136	テケ族 トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈125.0	絹・絹刺繍・裏に木版木綿	1領		前期
137	テケ族 トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈124.0	絹・絹刺繍・裏に木版木綿	1領	19世紀の花嫁マネ キン着装	
138	テケ族 トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	20世紀	総丈118.5	絹・刺繍	1領		後期
139	テケ族 トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	20世紀	総丈124.0	絹・刺繍	1領		前期
140	ヨムート族 トルクメン人		女性用外衣	1900年頃	丈115.5	絹・刺繍	1領		
141	ヨムート族 トルクメン人		女性用上衣(コイネク)	1930年以前	丈120.5	絹・見返しプリント木綿	1領		
142	ヨムート族 トルクメン人		男性用上衣	1900年頃	66.1×155.7	絹	1領		
143	ヨムート族 トルクメン人		男性用上衣	19世紀	丈65.4	絹・絹刺繍・見返しプリント木綿	1領		
144	ヨムート族 トルクメン人		女性用脚衣	19世紀	丈81.4	絹・絹刺繍・木綿	1枚		
145	ヨムート族 トルクメン人		刺繍袋	19世紀中期	17.0×14.3	刺繍	1枚		
146	オラム族 トルクメン人		刺繍袋	19世紀中期	17.7×16.0	刺繍	1枚		
147	エルサリ族 トルクメン人		刺繍袋	19世紀中期	17.4×13.2	木綿布・絹刺繍・ 裏にプリント木綿	1枚		



No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
148	シンド	バルチスタン	刺繍袋	19世紀中期	17.5×13.2	刺繍	1枚		
149	ウズベク人、ラカイ		刺繍袋	19世紀中期	19.8×15.0	絹・刺繍・銀・ガラスビーズ	1枚		
150	ウズベク人		刺繍袋	19世紀	18.0×15.0	絹刺繍・裏にプリント木綿	1枚		
151	タジク人		刺繍袋	20世紀初頭	31.0×16.0	刺繍	1枚		
152	パシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	18.5×12.0	刺繍	1枚		
153	パシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	18.5×12.5	刺繍	1枚		
154	パシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	16.8×10.6	刺繍	1枚		
155	ハザーラ人またはパシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	14.4×9.3	刺繍	1枚		
156	ハザーラ人		刺繍袋	19世紀中期	13.4×10.1	刺繍	1枚		
157	パシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	11.8×9.4	刺繍	1枚		
158	ハザーラ人		刺繍袋	19世紀中期	10.5×7.9	刺繍	1枚		
159	パシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	18.5×13.2	刺繍	1枚		
160	パシュトゥーン人		刺繍袋	19世紀中期	16.5×10.5	刺繍	1枚		
161	ウズベク人		刺繍袋	19世紀中期	20.0×14.6	刺繍	1枚		
162	テケ族 トルクメン人		刺繍袋	19世紀中期	16.7×13.4	刺繍	1枚		
163	ウズベク人		刺繍袋	20世紀中期	17.5×13.4	刺繍	1枚		
164	ウズベク人		刺繍袋	20世紀中期	19.5×13.7	刺繍	1枚		
165	ウズベク人、ラカイ		刺繍袋	19世紀中期	11.9×11.5	絹刺繍・銀・ガラスビーズ・裏に絹木綿	1枚		
166	パシュトゥーン人		刺繍袋	20世紀中期	17.3×12.2	刺繍	1枚		
167	ヨムト族 トルクメン人		刺繍袋	19世紀	15.5×8.5	絹刺繍	1枚		
168	ベルシア		刺繍袋	19世紀	9.1×12.6	刺繍	1枚		
169	ウズベク人		刺繍袋	19世紀	20.7×16.2	刺繍	1枚		
170	ウズベク人		刺繍袋	19世紀	54.2×37.3	絹経緯・毛織物・絹刺繍・金糸刺繍・組紐・裏にプリント木綿	1枚		
171	キルギス人		刺繍袋	20世紀中期	70.0×73.0	刺繍	1枚		
172	ホラーサーン地方		青銅輪花胴瓶	8-9世紀	36.0×18.0×22.0	青銅・铸造	1口		
173	ホラーサーン地方		青銅ランプ(香炉)	12世紀	高21.0 口径13.0	青銅・铸造・彫金・透彫	1基		
174	ホラーサーン地方		青銅銀銅象嵌蓋付インク壺	12世紀	高11.0 径8.0	铸造・彫金	1合		
175	ホラーサーン地方		胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径18.5	铸造・彫金	1合		
176	ホラーサーン地方		青銅ランプ台	12世紀後期・13世紀前期	高36.0 径18.0	铸造・彫金・透彫	1基		
177	ホラーサーン地方		胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径19.5	铸造・彫金	1合		
178	テケ族 トルクメン人		花嫁用頭飾り(エグメ)	19世紀初期	幅19.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点	19世紀の花嫁マネキン着装	
179	北ヨムト族 トルクメン人		頭飾り(シンシレ)	19世紀前半	幅32.0	銀・カーネリアン	1連		
180	ヨムト族 トルクメン人		頭飾り(イルディルジチュ)	19世紀後半	幅28.0	銀・カーネリアン	1連		
181	テケ族 トルクメン人		頭飾り(マンライリク)	19世紀後期	幅45.0	銀・鍍金・カーネリアン	1連		
182	テケ族 トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	18世紀	長62.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
183	エルサリ族 トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	19世紀初期	長57.0、59.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
184	テケ族 トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	19世紀中期	長26.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対	19世紀の花嫁マネキン着装	
185	ヨムト族 トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	17-18世紀	幅19.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
186	西ヨムト族 トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀初期	幅18.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
187	テケ族 トルクメン人		首胸飾り(ブカウ)	19世紀中期	幅22.5	銀・鍍金・カーネリアン	1組	19世紀の花嫁マネキン着装	
188	テケ族 トルクメン人		胸飾り(ゴンジュク)	19世紀前半	幅22.5	銀・鍍金・カーネリアン	1枚	19世紀の花嫁マネキン着装	
189	サルイ族 トルクメン人		背飾り(アシク)	18世紀	高23.0	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
190	サルイ族 トルクメン人		背飾り(アシク)	18世紀	高22.0	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
191	テケ族 トルクメン人		背飾り(ゴシャ・アシク)	19世紀初期	高15.0	銀・鍍金・カーネリアン	1面		
192	テケ族 トルクメン人		背飾り(アシク)	19世紀中期	高9.0-12.0	銀・鍍金・カーネリアン	1組		
193	エルサリ族 トルクメン人		背飾り(アシク)	19世紀前半	高6.0-9.0	銀・カーネリアン・革	1組		
194	テケ族 トルクメン人		髪飾り(サチュバグ)	19世紀後期	高51.0	銀・鍍金・カーネリアン・布	1対		
195	ジャフアナイ・ヨムト族 トルクメン人		背飾り(サチュモンジュク)	19世紀初期	長49.0	銀・鍍金・カーネリアン	1組		
196	ジャフアナイ・ヨムト族 トルクメン人		背飾り(サチュモンジュク)	19世紀前半	長52.0	銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	1組		
197	テケ族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	18世紀	高7.9	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
198	テケ族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1907/1908 (ヒジュラ暦1325)年	高18.5	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
199	ヨムト族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1908(ヒジュラ暦1326)年	高8.7	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
200	エルサリ族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	19世紀初期	高6.0	銀・カーネリアン	1対		
201	オラム族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	19世紀後半	高12.3	銀	1対		
202	ヨムト族またはエルサリ族 トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	18-19世紀	高25.5 幅21.5	銀・カーネリアン・布・刺繍	1点		
203	トルクメン人		指輪(ユズク)・手飾り	19-20世紀		銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	36件		
204	森 薫	1978-	中央アジアの衣服と布(原画)	2018年	各33.2×24.2	紙・インク・水彩	2枚	広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑤	
205			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代	17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口	10/1~12/5除く
206			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代	17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀	10/1~12/5除く
207			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代	17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀	10/1~12/5除く

## 関連事業

### (1) リレートーク

日 時：10月22日(金) 15:00～15:30

講 師：山下 寿水(当館主任学芸員)、森 万由子(当館学芸員)

会 場：2階展示室(第1室)

参加者：4人

### (2) スズニ刺繍ワークショップ「19世紀のスズニを研究する」

当館所蔵の19世紀のスズニの一部を、近似色の刺繍糸を用い、実寸大で再現刺繍。

日 時：①10月23日(土) 13:00～16:00／オンライン(Zoom)

②11月6日(土) 13:00～16:00／オンライン(Zoom)

③11月20日(土) 13:00～16:00／オンライン(Zoom)

講 師：福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)

参加者：①8人 ②8人 ③8人

### (3) 対話型鑑賞

日 時：①10月30日(土) 14:00～／オンライン(Zoom)

②11月13日(土) 14:00～／オンライン(Zoom)

ナビゲーター：森 万由子(当館学芸員)

参加者：①2人 ②3人

### (4) インスタギャラリートーク

#### ①中央アジアの刺繍と衣装 #乙嫁たちの手仕事2

日 時：10月18日(月) 17:00～

講 師：福田 浩子(当館学芸課長)

#### ②没後110年 小林千古ーアメリカで出会った夢

日 時：11月30日(火) 17:00～

講 師：角田 新(当館主任学芸員)

#### ③小特集 丸木位里と船田玉樹ー芸州美術協会の仲間

日 時：12月7日(火) 17:00～

講 師：神内 有理(当館主任学芸員)

参加者：①85人 ②93人 ③75人



## ミニガイドの発行

広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑩『サルバドール・ダリ 超現実主義者の夢』、⑪『丸木位里 前衛の日本画家』を作成、来館者に無料配布

## ジュニア鑑賞ガイドブックの発行

『広島県立美術館 ジュニア鑑賞ガイドブック』を作成、来館者に無料配布

## 関連報道・記事

### (1) テレビ

9/27 NHK広島・全国「秋の所蔵作品展 中央アジアの刺繍と衣装 #乙嫁たちの手仕事2」(福田学芸課長)

10/8 NHK広島「ジュニア鑑賞ガイドブック」(森学芸員)

### (2) 雑誌等

『JAF 博物館・美術館特集』10月号

### (3) WEB・SNSほか

『JAPAN textile NEWS』(中央アジアの刺繍と衣装)、『旅とテキスタイル』

# 冬の所蔵作品展 名品の森Ⅱ

令和4年1月2日(日)～4月17日(日)  
 前期：1月2日(日)～2月27日(日)  
 後期：3月1日(火)～4月17日(日)  
 ※臨時休館：1月11日(火)～3月6日(日)

## ウェルカムギャラリー

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913(大正2)	高74.5	木	1躯	第7回文展	
2	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
3	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	
4	巖 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
5	奥田 元宋	1912-2003	嶽	1959(昭和34)	110.0×210.0	紙本彩色	1面	第2回新日展	
6	児玉 希望	1898-1971	浅春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面		
7	平山 郁夫	1930-2009	天山南路(昼)	1960(昭和35)	164.2×218.8	紙本彩色	1面		
8	圓錐 勝三	1905-2003	月夜の僧	1985(昭和60)	高88.0×97.0×90.0	木・銅板・彩色	1躯	第17回改組日展	
9	六角 紫水	1867-1950	国宝巖島神社蔵 松喰鶴壽絵小唐櫃(模写)	1922(大正11)	高23.2 25.0×32.0	木・漆・蒔絵	1対のうち1合		
10	清水 南山	1875-1948	飛龍躍浪文硯屏	1942(昭和17)	高27.5 23.5×8.9	銀・彫金・木	1面		
11	今井 政之	1930-	象嵌彩窯変ざざみ香炉	2001(平成13)	高12.0 胴径14.5	陶器	1口		
12	奥田小由女	1936-	孤愁	1975(昭和50)	33.5×82.0×44.5	木・桐粉・胡粉	1体	第7回改組日展	

## 第1室 生誕140年 パブロ・ピカソ《フランコの夢と嘘》

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
13	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14.0	ブロンズ	1点		
14	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅰ	1936	24.0×12.0	インク・パステル・紙	1面		前期
15	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅱ	1936	25.0×15.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		後期
16	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅲ	1936-38	22.0×14.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		前期
17	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅳ	1937	21.0×16.0	インク・鉛筆・紙	1面		後期
18	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作Ⅰ	1937	33.0×24.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		前期
19	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作Ⅱ	1937	31.0×22.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		後期
20	パブロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘(Ⅰの第1刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
21	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅰの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
22	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第1刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
23	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
24	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第3刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
25	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第4刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
26	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第5刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1面		
27	アンリ・ローランス	1885-1954	イヤリングをつけた女の顔	1921	高36.9×12.8×11.6	テラコッタ	1点		
28	マン・レイ	1890-1976	エティエンヌ・ド・ボーモン伯爵邸での仮装舞踏会 ピカソとホルガ	1924	29.0×22.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
29	マン・レイ		ジョアン・ミロ	1930	28.8×22.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
30	マン・レイ		写真機のあるセルフポートレート	1932	29.7×20.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
31	マン・レイ		ジョルジュ・ブラック/ソラリゼーション	1933	28.8×22.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
32	マン・レイ		パブロ・ピカソ	1933	29.3×20.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
33	マン・レイ		ドラ・マール	1936	28.5×21.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
34	ジョアン・ミロ	1893-1983	スペインを救え	1937	31.0×24.5	ステンシル・紙	1面		
35	アレクサンダー・コルダー	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
36	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴェーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

## 第2室 SL機関士画家 太田忠

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
37	小林 和作	1888-1974	秋山	1959(昭和34)頃	60.5×73.0	油彩・画布	1面	第2回広島県在住美術家展	
38	中西 利雄	1900-1948	マドモアゼル嬢	1938(昭和13)	62.5×48.4	水彩・紙	1面		後期
39	中西 利雄		婦人像	1940(昭和15)頃	63.0×49.5	水彩・紙	1面		前期
40	小磯 良平	1903-1988	椅子にかける女	1969(昭和44)	45.8×35.8	紙・銅版	1面		
41	名柄 正之	1903-1997	風景(宇品線風景)	1939(昭和14)	49.0×64.0	水彩・紙	1面		前期
42	名柄 正之		風景(鉄道駅)	1940(昭和15)頃	52.0×65.0	水彩・紙	1面		後期

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
43	宇根元 警	1904-1970	冬日	1958(昭和33)	90.0×116.0	油彩・画布	1面	広島県在住代表美術家展	
44	檜山 武夫	1906-1932	花		33.2×24.0	油彩・ボード	1面		
45	檜山 武夫		プラットホーム	1930(昭和5)	60.0×73.0	油彩・画布	1面	第4回全関西展	
46	檜山 武夫		陸橋	1931(昭和6)	91.0×91.0	油彩・画布	1面	第18回二科展	
47	太田 忠	1908-1971	巨木のある風景	1940(昭和15)	72.8×91.0	油彩・画布	1面	第5回新制作展	
48	太田 忠		雪景	1941(昭和16)	129.1×97.8	油彩・画布	1面	第6回新制作展	
49	太田 忠		備後の風景	1951(昭和26)頃	31.8×41.0	油彩・画布	1面		
50	太田 忠		橋のある風景	1952(昭和27)	130.5×162.6	油彩・画布	1面	第16回新制作展	
51	太田 忠		ビルの裏街	1955(昭和30)	162.3×130.4	油彩・画布	1面	第3回日本国際美術展	
52	太田 忠		池のある風景	1956(昭和31)	162.1×130.3	油彩・画布	1面	第2回現代日本美術展	
53	太田 忠		晩秋		61.1×80.6	油彩・画布	1面	新収蔵作品	
54	太田 忠		夕照	1964(昭和39)	162.0×131.0	油彩・画布	1面	第28回新制作展	
55	太田 忠		雪景	1965(昭和40)	173.3×130.3	油彩・画布	1面		
56	太田 忠		雪景	1966(昭和41)	130.3×162.1	油彩・画布	1面	第30回新制作展	
57	太田 忠		カレラック風景	1969(昭和44)	61.0×73.3	油彩・画布	1面		
58	太田 忠		農村の秋(オーベルニュ地方)	1970(昭和45)	131.0×162.3	油彩・画布	1面	第34回新制作展 新収蔵作品	
59	菅井 汲	1919-1996	NATIONAL ROUTE (ナショナル・ルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		
60	菅井 汲		マッス・グレー(MASSE GRIS)	1964(昭和39)	194.9×155.4	油彩・画布	1面		

### 第3室 生誕110年 塩出英雄の芸術

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
61	塩出 英雄	1912-2001	双鳩	1936(昭和11)	168.5×186.5	紙本彩色	1隻		
62	塩出 英雄		婦女図	1946(昭和21)	170.5×169.0	紙本彩色	1双	第31回院展	
63	塩出 英雄		清泉	1953(昭和28)	231.1×189.6	紙本彩色	1隻	第38回院展	
64	塩出 英雄		草庵	1964(昭和39)	178.2×223.0	紙本彩色	1面	第49回院展	
65	塩出 英雄		石組	1967(昭和42)	61.0×81.0	紙本彩色	1面	第5回巧友会展	
66	塩出 英雄		宝満山	1968(昭和43)	52.0×71.5	紙本彩色	1面	第17回五都展	
67	塩出 英雄		春山	1969(昭和44)	176.0×242.0	紙本彩色	1面	第54回院展	
68	塩出 英雄		山峯	1971(昭和46)	173.4×243.2	紙本彩色	1隻	第56回院展	
69	塩出 英雄		亭橋	1975(昭和50)	174.4×242.4	紙本彩色	1隻	第60回院展	
70	塩出 英雄		層嶺	1978(昭和53)	182.0×243.0	紙本彩色	1隻	第63回院展	
71	和高 節二	1898-1990	仔牛とたわむれる農夫	1923(大正12)	53.5×47.0	紙本彩色	1面		
72	和高 節二		仔牛と村女	1939(昭和14)	132.6×248.4	紙本彩色	1隻	第26回院展	
73	和高 節二		牡牛	1940(昭和15)	160.0×263.2	紙本彩色	1隻	紀元二千六百年 奉祝日本画展	
74	和高 節二		牡牛(下図)	1940(昭和15)	118.0×64.1	紙本彩色	1面		
75	和高 節二		崖	1951(昭和26)	139.6×117.2	紙本彩色	1面	第7回日展	
76	和高 節二		猫と話をする老人	1953(昭和28)	91.0×142.0	紙本彩色	1面		
77	和高 節二		石崖	1967(昭和42)	181.5×178.0	紙本彩色	1面		
78	和高 節二		仔牛誕生	1970(昭和45)	158.3×263.2	紙本彩色	1隻		

### 第4室 新収蔵作品

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
79	田辺 玉田	生年不詳1925	四季山水図	19-20世紀	153.0×352.0	紙本金地墨画彩色	6曲1双	新収蔵作品	
80			縮景園図	江戸時代 18世紀	32.7×181.3	紙本彩色	1巻	新収蔵作品(寄託)	通期
81			縮景園図(浅野侯別邸泉邸図)	江戸時代 19世紀	32.5×154.5	紙本彩色	1巻	新収蔵作品(寄託)	後期
82	頼 春水	1746-1816	縮景園記	1806(文化3)	27.4×255.0	紙本墨書・朱書	1巻	新収蔵作品(寄託)	場面替え
83	山路 商	1903-1944	アネモネ		20.6×27.0	油彩・板	1面	新収蔵作品	
84	福井 芳郎	1912-1974	ヒロシマ	1947-1948(昭和22-23)頃	24.1×33.4	油彩・板	1面	新収蔵作品	
85	中谷 翫古	1868-1937	古代雛		女雛 H14.5×36.0×23.0 男雛 H15.5×28.0×16.5	木彫・彩色	1対	新収蔵作品	
86	今井 政之	1930-	象嵌彩灰被チャンカイ讃歌花壺	1989(平成元)	高29.0 径34.5	陶器	1口	新収蔵作品	
87	杉谷 富代	1924-2012	滞船	1969(昭和44)	166.0×96.0	染	1面		
88	杉谷 富代		風の記憶	1980(昭和55)頃	165.3×165.0	染	3曲1隻	新収蔵作品	
89	杉谷 富代		月明かりに	1984(昭和59)頃	157.0×144.0	染	2曲1隻	新収蔵作品	
90	渡辺 溥子	1938-	紬織着物「薫風」	1974(昭和49)	衿63.0 丈167.0	絹・紬・緯緋	1領	新収蔵作品・第11回 日本伝統工芸染織展	
91	渡辺 溥子		紬織着物「竹林」	1984(昭和59)	衿65.0 丈169.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第24回 伝統工芸新作品展	
92	渡辺 溥子		紬織着物「星影」	1988(昭和63)	衿67.0 丈170.0	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第35回 日本伝統工芸展	

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
93	渡辺 溥子		紬織着物「花連」	1993(平成5)	桁65.0 丈166.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第40回日本伝統工芸展	
94	渡辺 溥子		紬織着物「星彩」	1994(平成6)	桁65.5 丈167.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第33回日本伝統工芸展 染織展覧会教育委員会賞	
95	渡辺 溥子		紬織着物「みのり」	1997(平成9)	桁66.5 丈175.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第44回日本伝統工芸展	
96	渡辺 溥子		紬織着物「おぼろ月」	1998(平成10)	桁64.0 丈170.0	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第33回日本伝統工芸展 染織展覧会教育委員会賞	
97	渡辺 溥子		紬織着物「月影」	1999(平成11)	桁68.0 丈171.5	絹・紬・経緯緋	1領	第61回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞	
98	渡辺 溥子		紬織着物「蛍影」	2000(平成12)	桁66.0 丈174.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第47回日本伝統工芸展	
99	渡辺 溥子		紬織着物「光彩」	2002(平成14)	桁67.0 丈172.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第49回日本伝統工芸展	
100	渡辺 溥子		紬織着物「瀬」	2004(平成16)	桁66.0 丈173.0	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品	
101	渡辺 溥子		紬織着物「桜の森」	2004(平成16)	桁65.0 丈177.0	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第44回日本伝統工芸展	
102	渡辺 溥子		紬織着物「蛍影」	2005(平成17)	桁65.5 丈177.0	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第52回日本伝統工芸展	
103	渡辺 溥子		紬織着物「奏」	2007(平成19)	桁68.0 丈172.5	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第54回日本伝統工芸展	
104	渡辺 溥子		紬織着物「山並み」	2011(平成23)	桁64.5 丈173.0	絹・紬・経緯緋	1領	新収蔵作品・第58回日本伝統工芸展	
105	渡辺 溥子		紬織着物「薫風」の上衿	1974(昭和49)	102.7×17.5	絹・紬・緯緋	1枚	新収蔵作品	前期
106	渡辺 溥子		紬織着物「薫風」の下図	1974(昭和49)	54.0×39.5	紙	1枚	新収蔵作品	前期
107	渡辺 溥子		紬織着物「竹林」の上衿	1984(昭和59)	113.5×38.0	絹・紬・経緯緋	1枚	新収蔵作品	後期
108	渡辺 溥子		紬織着物「竹林」の下図	1984(昭和59)	19.0×39.2	紙	1枚	新収蔵作品	後期
109	渡辺 溥子		紬織着物「星影」の下図	1988(昭和63)	38.5×53.5	紙	1枚	新収蔵作品	前期
110	渡辺 溥子		紬織着物「花連」の下図	1993(平成5)	12.5×40.0	紙	1枚	新収蔵作品	後期
111	渡辺 溥子		紬織着物「みのり」の下図	1997(平成9)	29.8×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	前期
112	渡辺 溥子		紬織着物「光彩」の下図	2002(平成14)	42.3×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	後期
113	渡辺 溥子		紬織着物「瀬」の下図	2004(平成16)	29.8×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	前期
114	渡辺 溥子		紬織着物「桜の森」の下図	2004(平成16)	59.5×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	後期
115	渡辺 溥子		紬織着物「蛍影」の下図	2005(平成17)	59.5×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	後期
116	渡辺 溥子		紬織着物「奏」の下図	2007(平成19)	29.5×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	前期
117	渡辺 溥子		紬織着物「山並み」の下図	2011(平成23)	70.0×42.0	紙	1枚	新収蔵作品	後期
118	渡辺 溥子		紬織着物「朝風」の裂	1972(昭和47)	31.0×35.5	絹・紬・緯緋	1枚	新収蔵作品	前期
119	渡辺 溥子		紬織着物「花七宝繫」の下図	1975(昭和50)	33.0×48.0	紙	1枚	新収蔵作品	後期
120			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
121			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
122			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		

## 関連事業

### (1) リレートーク

日 時：3月22日(火) 15:00～

講 師：角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、隅川 明宏(当館学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)

会 場：2階展示室(第3室、第4室)

参加者：5人

### (2) 対話型鑑賞

日 時：①3月5日(土) 14:00～／オンライン(Zoom)

②3月26日(土) 14:00～／オンライン(Zoom)

ナビゲーター：森 万由子(当館学芸員)

参加者：①6人 ②2人

### (3) インスタギャラリートーク

#### ①生誕110年 塩出英雄の芸術

日 時：2月3日(木) 17:00～

講 師：隅川 明宏(当館学芸員)

#### ②新収蔵品紹介

日 時：2月10日(木) 17:00～

講 師：角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、隅川 明宏(当館学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)

#### ③SL機関士画家 太田忠

日 時：3月15日(火) 17:00～



講 師：角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)

④新収蔵品紹介

日 時：3月29日(火) 17:00～

講 師：福田 浩子(当館学芸課長)

参加者：①48人 ②61人 ③54人 ④64人

ミニガイドの発行

広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑱『圓鋸勝三 世界を包み込む彫刻』、⑲『鬩光 日本洋画の精華』、⑳『奥田元宋 心象の山水』、㉑『清水南山 彫金に生きる』を作成、来館者に無料配布





## ウェルカムギャラリー

リニューアルオープン25周年記念として、所蔵作品の魅力を端的に発信するためのコーナー「ウェルカムギャラリー」を常設展示室内の彫刻展示スペースに新設した。来館者への歓迎の気持ちと、「多くの方々の美術への誘いとなるように」との願いを込めて命名したこのコーナーでは、美術愛好家はもちろん、美術になじみの薄い人々にも楽しんでもらうために、デジタル技術を活用したわかりやすい作品解説や作品を紹介するストーリーに工夫を加えた。また、当館の成り立ちや所蔵作品を紹介する動画を作成・上映し、美術館への誘いとした。

併せて、話題づくりや新たな来館者層の掘り起こしを目的とした展示(菅井汲旧蔵のポルシェのロビー展示)や関連イベントの開催、鑑賞ガイドの発行などを積極的に行った。また、それらの活動を広報するために、これまでの所蔵作品展では行ったことのなかった、地元アーティストへのアンバサダーの依頼やインターネット広告、内覧会等、多様な媒体での広報事業を展開した。

なお、ウェルカムギャラリーを含む「秋の所蔵作品展」はARTS for the future!(AFF、文化庁コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)の採択を受け、実施した。

(総括担当者：神内 有理)



### 【展示内容】

「これが、県美の広島愛」をテーマに、広島ゆかりの著名作家(日本画家・児玉希望、奥田元宋、平山郁夫／洋画家・小林千古、南薫造、鬚光／漆芸家・六角紫水／彫金家・清水南山／陶芸家・今井政之／人形作家・奥田小由女／彫刻家・平櫛田中、圓鋳勝三)の代表作を一堂に展示。作家を育んだ広島という地域の特性や、作家の広島への想いを伝えるエピソードと合わせて紹介した。

### 【新たな取組】

#### 展示

#### (1) 新たな来館者サービス

従来の作品解説(キャプション)に加え、来館者の関心・理解度に応じて選択できる解説(音声ガイダンスと詳細解説／QRコード読みとりによりスマートフォンで視聴)を用意

#### (2) 当館の成り立ちや特徴を紹介する動画(約4分)の作成、上映

#### (3) 稀少車の展示

アーティスト・菅井汲が所有した1973年式ポルシェ911カレラRSを公開



#### イベント

広島を中心に活躍するミュージシャン・森本ケンタ氏によるミニコンサートや、森本氏と当館学芸員による対話型鑑賞、インスタギャラリートークを実施。

#### (1) ミニコンサート

##### ① 森本ケンタとウェルカムギャラリー・ギター&チェロによるオンラインコンサート

日時：11月17日(水) 17:30～(30分程度)

出演：森本ケンタ(ギター)、川岡 光一(チェロ)

参加者：87人

②森本ケンタとウェルカムギャラリー・ギターデュオによるオンラインコンサート

日 時：12月9日(木) 18：00～(30分程度)

出 演：森本ケンタ(ギター)、小田原政広(ギター)

参加者：78人

(2) 森本ケンタとオンライン対話型鑑賞

日 時：11月27日(土) 14：00～(90分程度)／オンライン(Zoom)

ナビゲーター：森 万由子(当館学芸員)

参加者：7人

(3) インスタギャラリートーク

①ウェルカム・オンラインギャラリートーク

日 時：11月9日(火) 17：30～

出 演：森本ケンタ、神内 有理(当館主任学芸員)

参加者：90人

②菅井汲のポルシェ・オンラインギャラリートーク

日 時：12月1日(水) 17：30～(30分程度)

出 演：森本ケンタ、角田 新(当館主任学芸員)

参加者：83人

③ウェルカムギャラリー

日 時：1月27日(木) 12：00～

講 師：神内 有理(当館主任学芸員)

参加者：56人



広報

(1) 森本ケンタ氏をアンバサダーとした展覧会関連イベントの実施や SNS での広報活動

(2) インターネット広告

(3) 内覧会の開催 (11月8日)



関連番組・記事

(1) テレビ

11／9 NHK広島「県立美術館で広島県ゆかりの作家の作品展」、  
広島ホームテレビ「「幻のポルシェ」が県立美術館に登場」

12／12 ひろしま県民テレビ「新ギャラリーに広島ゆかりの作品が集結」

(2) 新聞

10／28 広島経済新聞「県立美術館で幻のポルシェ展示 ウェルカムギャラリー新設で」

11／21 中国新聞「所蔵品の魅力 一室に凝縮 初回テーマ「広島愛」」

11／25 朝日新聞「県立美術館リニューアル25周年記念 「移民県」が生んだ画家」

12／19 産経新聞「眠りから目覚めた幻の73ポルシェ」

(3) 雑誌等

「ミュージアムタウン探訪3 広島」『日経おとなのOFF』1月号、「新しい展示スペース ウェルカム  
ギャラリー」『TJhiroshima』12月号、「広島県立美術館に「ウェルカムギャラリー」誕生」『ウエン  
ディ』12月1日号、「ウェルカムギャラリー新設」『中国新聞テレビガイド』・中国新聞折込

(4) WEB・SNS ほか

『広島観光ナビ』(広島県観光連盟サイト)、『ひろたび』(広島広域観光サイト)、「幻の73ポルシェ911  
カレラRSがある美術館」『産経新聞Webニュース』12／12～

### Ⅲ 普及活動

#### 1 第9回新県美展(第73回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。平成25年度には、より広く県民が参加できる美術展をめざして、新たに映像系部門を加え、また、入館者人気大賞を実施するなどの見直しを行い、「新県美展」としてリニューアルした。さらに令和2年度には、平成24年度から令和元年度まで、県内の児童・生徒の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ることを目的として開催していた公募展「広島県ジュニア美術展」を、新県美展ジュニア部門として同時開催することとした。

本年度は、令和3(2021)年6月26日(土)～7月11日(日)の開催を予定し、準備を進めた。しかし新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、5月16日から31日までの期間、本県が緊急事態措置区域に指定されたことに伴い、感染拡大抑制の観点から、開催を中止することとした。

「第9回新県美展(第73回広島県美術展)」を中止したことに伴い、引き続き制作活動を奨励するとともに、美術鑑賞の機会を提供する観点から、インターネットを活用して美術作品を公募し、優れた作品を公開する「令和3年度広島県Web公募美術展」(主催：広島県、共催：中国新聞社・広島県教育委員会、申込期間：8月25日～9月10日、展示期間：10月12日～12月31日)を開催した。

区 分	種 目	出品数	入 選	大 賞	優 秀 賞	奨 励 賞	特 選
一 般 部 門	絵 画 系	185	37				37
	彫 塑 系	14	3				3
	工 芸 系	28	7				7
	書 系	57	11				11
	写 真 系	147	8	1	2	5	
	デ ザ イ ン 系	46	10				10
	映 像 系	30	6	1	2	3	
	計	507	82	2	4	8	68
ジュニア部門	絵 画	215	16				16
	工 芸( 工 作 )	83	18				18
	彫 刻	3	1				1
	写 真	31	4	1	1	2	
	デ ザ イ ン	35	7				7
	計	367	46	1	1	2	42
合 計		874	128	3	5	10	110

## 2 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として例年実施している。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度同様、県内大学に絞って募集を行った。各校に対しては、文化庁企画調整課博物館振興室より各大学宛に出された「令和3年度における学芸員養成課程に係る博物館実習の実施に当たっての留意事項について」に基づき、健康管理に留意することを徹底するよう伝えた上で開設の運びとなった。開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

(実習担当者：森 万由子)

### 開設日時と内容

当初、8月16日(月)から20日(金)の計5日間を予定していたが、17日(火)に大雨により広島駅に接続するJRの一部列車が運休となったため、受講生の安全に鑑み終日休講とした。その代替として、18日(水)から20日(金)のカリキュラムを各日1時間延長し、計4日間として実施した。

8月16日(月)	9:30～10:00	オリエンテーション
	10:00～11:00	開講あいさつ・館長講話
	11:00～12:00	講座①「美術館と学芸活動」
	13:00～13:30	見学① 館内
	13:30～14:30	講座②「美術館の展示環境・展示手法」
	14:30～15:30	見学②「所蔵作品展」
	15:30～16:00	広報企画実習①(課題説明)
8月18日(水)	9:30～10:30	講座③「総務(全般・予算・広報)・施設管理について」
	10:30～11:00	ギャラリートーク実習①(概論)
	11:00～12:00	広報企画実習②(発表・ディスカッション)
	13:00～14:00	作品取扱い実習・調書作成①(工芸)
	14:00～15:00	講座④「対話型鑑賞」(講義と実践)
	15:00～17:00	ギャラリートーク実習②(企画立案)
8月19日(木)	9:30～10:30	作品取扱い実習・調書作成②(日本洋画)
	10:30～11:30	作品取扱い実習・調書作成③(日本画)
	11:30～12:00	見学③「藤子不二雄 <sup>®</sup> 展」
	13:00～17:00	ギャラリートーク実習③(集約・制作)
8月20日(金)	9:30～12:00	ギャラリートーク実習④(発表準備)
	13:00～14:00	ギャラリートーク実習⑤(発表準備)
	14:00～15:30	ギャラリートーク実習⑥(発表)
	15:30～16:00	受講生ディスカッション
	16:00～17:00	振り返り

### 受講生所属大学

安田女子大学、県立広島大学、比治山大学、広島市立大学、広島女学院大学(5大学、計9名)

### 広報企画実習

大学生をターゲットにした、当館所蔵作品展の広報企画の立案を行う「広報企画実習」を新設した。初日にワークシートを配布し、まずは各自で企画案を考えてくることを課題とした。発表・ディスカッションにおいて、受講者は3班に分かれ、各々の案を他の班員と共有し、ブラッシュアップしたのち一つの企画とし班ごとに発表を行った。同年代ならではの視点で、充実した企画案が提示された。

## ギャラリートーク実習

メインカリキュラムは、前年度までの「ギャラリートーク実習」を引き継ぎ、所蔵作品展で展示中の作品の中から対象作品を選定し、模擬的なギャラリートークを実施した。受講生は3班に分かれ、グループワークにより、各班で対象者、作品、対象者に合わせたトーク内容、ギャラリートーク全体のテーマを決定。各班ともにそれぞれ違った視点によるテーマ設定が行われ、充実した内容となっていた。各班のテーマ、対象者、作品は次の通り。

①	絵で見る動物・植物図鑑 梶田半古《月下鶉図》、片田天玲《二月》、五代金城一国斎《高盛絵四季寄花硯箱》
②	黒の世界の動物たち 寺田政明《生と死の凝視》、吉原英雄《版画集『ペットショップ』より ガラスの向う側》、三代金城一国斎《菊雲鶴文食籠》
③	これな～んだ 兎玉希望《涅槃》、和高節二《仔牛》、綿谷行四郎《冠鶴》

### 3 学校・地域との連携事業

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進する。

#### (1) 出張講座

本講座は、県立美術館の学芸職員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の2つのコースを設定した。

A コレクション・トーク 当館所蔵作品や地域文化などをテーマに行う講座(13講座)

B 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を紹介する講座(2講座)

令和3年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

No.	開催日			会場	講師	講座タイトル	参加(人)
	月	日	曜				
1	5	15	土	リワークセンター大手町 (※新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催)	森	話しながら見てみようーみんなで楽しむ美術鑑賞ー	10
2	10	14	木	府中北交流センター	岡地	「はるかなる古伊万里 400年の物語」展を楽しむ	55
3	10	21	木	佐方市民センター	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	20

(全3会場／参加合計85人)



## (2) 南薫造展にともなう地域連携事業について

呉市安浦町出身で広島を代表する洋画家・南薫造展の開催に合わせ、作家の出身地である呉地域において、教育・まちづくり・観光・美術館連携という4つのテーマ別に関係する団体と連携して事業を行った。多くの方々のご協力を得た結果、当特別展の関心を高め、地域文化に親しむ機運の醸成を図ることへとつなげることが出来た。

こうした取組は当館として初の試みであり、美術館活動の新たな可能性を広げるものと考えている。今後も広島ゆかりの作家の顕彰を行うとともに、今回の取組については、県内他地域へ横展開を図ることと、地域の文化拠点としての役割を高めていきたい。

(担当：学芸課 神内有理／総務課 山中智幸／総務課 一色直香)

### 1. 教育における連携

南薫造の出身校である呉市立安浦小学校と連携し、児童による絵画制作の実施、展示、特別展鑑賞バスツアーを行った。その際、くれしん芸術文化財団よりバスツアー費用の協賛および児童絵画の展示、南薫造記念館には児童絵画制作や児童絵画の展示に御協力を得た。

連携団体	企画内容	実施時期
呉市立安浦小学校 くれしん芸術文化財団 南薫造記念館	児童(6年生)に対する絵画制作 ワークショップ開催	R 3年2月22日 (会場：南薫造記念館)
	児童制作絵画の展示	県立美術館： R 3年4月20日～6月23日 呉信用金庫： R 3年7月14日～8月2日 南薫造記念館： R 3年8月6日～9月5日
	特別展鑑賞バスツアー実施	令和3年5月28日

### 2. まちづくりでの連携

安浦町まちづくり協議会と連携し、安浦町特産品によるマルシェの開催と安浦町特産品を使用したコラボメニューの提供を計画。新型コロナウイルスの影響により臨時休館となったためマルシェは中止となったが、安浦町特産の素材(酒粕)を使用し、安浦町地域おこし協力隊が製作したケーキ(地元安浦町でも販売中)をコラボメニューとして当館ティールームで提供することが出来た。

また、広報においても安浦町内への南薫造展チラシの全戸配布(約5,000戸)等の協力を得た。

#### 商店街との連携

呉中通商店街(れんがどおり)の御協力により、アーケードにおいて、南薫造展のポスターを掲出した。特別展を盛り上げるための広報とともに、地元作家の存在を広く市民へ知っていただく機会の創出へとつながった。



### 3. 観光での連携

呉観光協会とともに、南薫造が愛し、描いた瀬戸内の風景やゆかりの場所を、作品と現在の写真で紹介し、作家・作品についての紹介文(当館学芸員)と描かれた場所の解説(呉観光協会)を添えた観光マップを作成。

観光マップ作成に係る経費は、地域企業・団体から協賛を募集。県内外の観光案内所・美術館等に配架した。



「画家が愛した風景－南薫造と旅する瀬戸内の美」マップ



「南薫造と旅する瀬戸内の美マップ別冊」

マップ制作に関わった有志による南薫造紹介イラスト



広島県観光連盟の特設サイト

#### 4. 美術館連携

南薫造記念館と連携し、南薫造記念館で開催された座談会(5/15開催)に、当館から担当学芸員を講師として派遣した。また、来館者が両館の作品のモデルやアトリエで画家になりきってSNS(ツイッター)へ投稿したり、相互来館特典としてオリジナル絵はがきを進呈するなどの事業を行った。

## 4 鑑賞支援制作物

### (1) ワークシート

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。令和3年度は新たに1種類を作成し、合わせて336種となった。

No.	所蔵作品番号	作者名	作品名	制作年	材質・技法
1	J-350	和高節二	牡牛	1940(昭和15)	紙・彩色・屏風

### 作例



### (2) ミニガイド

来館者の鑑賞を支援するため、所蔵作品のミニガイドブック(16頁)を作成している。令和3年度は新たに7種類を作成し、合わせて21種となった。

No.	ミニガイド番号	冊子名
1	15	三代金城一国斎：広島漆工芸・高盛絵
2	16	サルバドール・ダリ：超現実主義者の夢
3	17	丸木位里：前衛の日本画家
4	18	圓鋸勝三：世界を包み込む彫刻
5	19	鬯光：日本洋画の精華
6	20	奥田元宋：心象の山水
7	21	清水南山：彫金に生きる

### 作例





### (3) 広島県立美術館ジュニア鑑賞ガイドブック

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年～中学生を対象に、当館の主要な所蔵作品や美術館の楽しみ方を、マンガのストーリーに沿って紹介するガイドブック(A5、16頁)を新たに作成した。

また、ホームページ上にpdfを公開した。



## 5 学校等による利用状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日までの利用状況(団体申込による)は、次のとおり。

### 概要

区分(団体・区域)		団体数	人数	引率等	総人数	
1	小学校	(1)市内	-	-	-	
		(2)県内	1団体	38	3	41
		(3)県外	-	-	-	-
2	中学校	(1)市内	1団体	4	3	7
		(2)県内	-	-	-	-
		(3)県外	3団体	52	3	55
3	高校	(1)市内	1団体	5	1	6
		(2)県内	1団体	16	3	19
		(3)県外	-	-	-	-
4	その他	(1)市内	8団体	257	12	269
		(2)県内	-	-	-	-
		(3)県外	2団体	61	3	64
合計		17団体	433	28	461	

### 詳細

団体	区域	利用年月日	人数	引率等	総人数	利用目的	対応	
1 呉市立港町小学校	(2)県内	2022年3月23日	38	3	41	所		
2	広島市立長束中学校	(1)市内	2021年10月16日	4	3	7	特・所・縮	
	岡山市立金浦中学校	(3)県外	2021年11月10日	6	0	6	所	
	岡山市立旭東中学校	(3)県外	2021年11月12日	19	1	20	所	
	井原市立井原中学校	(3)県外	2021年11月18日	27	2	29	所	
3	こうわ高等学院	(2)県内	2021年7月14日	16	3	19	所	
	広島女学院高等学校	(1)市内	2021年10月23日	5	1	6	特	
4	叡啓大学	(1)市内	2021年10月28日	26	1	27	特・所	学芸員解説
	叡啓大学	(1)市内	2021年10月29日	20	1	21	特・所	学芸員解説
	叡啓大学	(1)市内	2021年11月1日	19	1	20	特・所	学芸員解説
	叡啓大学	(1)市内	2021年11月2日	21	1	22	特・所	学芸員解説
	広島酔心調理製菓専門学校	(1)市内	2021年11月12日	92	5	97	特	学芸員解説
	広島酔心調理製菓専門学校	(1)市内	2021年11月18日	31	1	32	特	学芸員解説
	広島酔心調理製菓専門学校	(1)市内	2021年11月19日	31	1	32	特	学芸員解説
	安田女子大学	(1)市内	2021年11月21日	17	1	18	所	
	河原デザイン・アート専門学校	(3)県外	2021年12月3日	26	2	28	所	
	河原デザイン・アート専門学校	(3)県外	2021年12月10日	35	1	36	所	

※ 利用目的について、「特」は特別展、「所」は所蔵作品展、「縮」は縮景園の利用を表す。



## 6 県民ギャラリー利用状況

令和3年4月5日～令和4年4月4日までの利用状況は、次のとおり。

利用団体		延べ開催日数	延べ入場者数
入場有料	5 団体	30日	9,341人
入場無料	64 団体	384日	42,506人
計	69 団体	414日	51,847人

### 利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入場料金	入場者数
第43回グループ「集」展	4/5～4/12	1 2	絵画	34点	無料	692人
透明水彩画展 ～夢～	4/5～4/12	3	絵画	59点	無料	469人
第6回広島一水会展・第40回路展	4/5～4/12	4 5	絵画	85点	無料	718人
“公募2021”第42回 関西綜美会展	4/12～4/19	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	161点	無料	887人
第30回波の会展	4/19～4/26	1 2 3 4 5	絵画	178点	無料	1,390人
佃静聞・行雲流水展	4/26～5/3	1	絵画	24点	無料	316人
書のころ太陽社 2021年展 第10回太陽の子 書の作品展 書でもない 絵でもない	4/26～5/3	2 3 4	書	92点	無料	822人
第119回北翔展	4/26～5/3	5	絵画	50点	無料	441人
広島新協展	5/3～5/10	2 3	絵画、工芸	26点	無料	537人
第30回グループ宙遊展	5/10～5/17	1	絵画	44点	無料	370人
第53回黄人展	5/10～5/17	2 3	絵画、彫塑、工芸	62点	無料	508人
第51回広島県日本画協会展	5/10～5/17	4 5	絵画	48点	無料	420人
第59回大調和会広島巡回展	5/17～5/24	1 2	絵画	70点	無料	430人
第83回新制作展広島関係出品・入選作品展 第60回新制作広島グループ展	5/17～5/24	3 4 5	絵画、彫塑	57点	無料	509人
第69回光陽展広島準本展	5/24～5/31	1 2 3 4 5	絵画	105点	無料	446人
第107回光風会展	7/19～7/26	1 2 3 4 5	絵画、工芸	136点	一般 600円 高大生 500円	3,698人
第10回新構造広島巡回展	7/26～8/2	4 5	絵画、工芸、写真、版画	67点	無料	653人
第61回日本版画会展(広島会場)	8/2～8/9	1 2 3	絵画	100点	無料	872人
心書倶楽部展	8/2～8/9	5	書	152点	無料	328人
第36回広島市立基町高等学校美術部・ 創造表現コース卒業生による桐美会展	8/9～8/16	2	絵画、工芸、版画、デザイン、 他(CG)	44点	無料	407人
第56回広島形象派展	8/9～8/16	3	絵画	41点	無料	341人
第56回グループいしがき展	8/9～8/16	4 5	絵画	88点	無料	503人
第72回毎日書道展中国展	8/16～8/23	1 2 3 4 5	書	860点	一般 600円 高校生以下無料	1,052人
第35回日洋展広島会場	8/23～8/30	1 2 3 4 5	絵画	115点	一般当日 600円 一般前売 500円 大学生以下無料	1,195人
第87回東光展	8/30～9/6	1 2 3 4 5	絵画	156点	一般 600円 学生無料	1,291人
第67回職美展	9/6～9/13	2 3 4	絵画、工芸、書、写真、他(刺繍)	199点	無料	815人
第40回互の会日本画展	9/6～9/13	5	絵画	52点	無料	556人
第33回クッキー同好会人物素描展	9/13～9/20	3	絵画	39点	無料	310人
第18回むいち会展 第20回凜の会展	9/13～9/20	4 5	絵画	53点	無料	438人



展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	出品点数	入場料金	入場者数
比治山大学短期大学部 美術専攻科 作品展	9/20～9/27	1	絵画、工芸、他(パネル、マン ガ本、書籍、デザイン)	68点	無料	181人
広島筆文化研究会主催 第3回書画公募展	9/20～9/27	2 3 4	絵画、書、他(絵手紙)	35点	無料	500人
第38回産経国際書展瀬戸内展	9/27～10/4	1 2 3 4 5	書	303点	無料	590人
第33回広島日展会展	10/4～10/11	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書	115点	無料	1,552人
第44回広島県工芸美術作家協会展	10/11～10/18	1	工芸	25点	無料	274人
広島YMCA学園 2021生徒作品展 「美術教室」	10/11～10/18	2	絵画、他(立体)	368点	無料	314人
第39回廣陽カメラ倶楽部写真展	10/11～10/18	4 5	写真	160点	無料	784人
第33回NOA写真展	10/18～10/25	1	写真	52点	無料	632人
一般社団法人二科会写真部広島支部 第43回支部公募展	10/18～10/25	2 3 4 5	写真	309点	無料	1,421人
第45回広島県高等学校総合文化祭 第53回広島県高等学校書道展	11/1～11/8	1 2 3 4 5	書	212点	無料	1,006人
第45回広島県高等学校総合文化祭 第53回広島県高等学校美術・工芸展 (中央展)	11/8～11/15	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、他(映像)	443点	無料	972人
第9回写真展 キヤノンフォトクラブ広島	11/15～11/22	1	写真	39点	無料	498人
2021年Petals美術展	11/15～11/22	2	絵画	60点	無料	589人
全日本写真連盟広島県本部展 第81回国際写真サロン・第24回写真サ ロン・中国 第21回広島県本部展	11/15～11/22	3 4 5	写真	341点	無料	1,002人
第5回蒼空の会	11/22～11/29	1	絵画	48点	無料	390人
第52回元陽展広島会場	11/22～11/29	2 3 4	絵画	91点	無料	2,177人
第30回ぐるーぶNAN作品展	11/29～12/6	2	絵画	42点	無料	518人
日本風景写真協会広島第二支部 第3 回写真展	11/29～12/6	3	写真	35点	無料	645人
第51回渦展	11/29～12/6	5	絵画	32点	無料	421人
第74回広島県児童生徒書道展	12/6～12/13	1 2 3 4 5	書	2,071 点	無料	2,606人
エディション20周年記念写真展 「メノツケドコロ・Ⅱ」	12/13～12/20	1 2	写真	132	無料	667人
第4回日本水彩画作家 彩遊会展	12/13～12/20	3	絵画	28点	無料	528人
第2回公募中国地区 国展	12/13～12/20	4 5	絵画、彫塑、工芸、他(版画)	68点	無料	597人
第105回二科展(第65回広島巡回展)	1/10～1/17	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、デザイン	535点	一 般 600円 前 売 400円 高校生以下無料	2,105人
第19回アルパーク展(津賀水彩画教室)	1/31～2/7	5	絵画	67点	無料	294人
令和3年度広島県立熊野高等学校芸術類型 美術コース・書道コース卒業制作展	2/14～2/21	1 2	絵画、彫塑、書、その他	73点	無料	774人
新協美術会 広島グループ展	2/14～2/21	5	絵画、工芸	20点	無料	262人
第53回安田女子大学書道学科卒業制作展 併催 安田女子大学書道学科展 安田学園 小・中・高等学校書道展 併催 安田女子大学書道学科行事作品展	2/21～2/28	1 2 3 4 5	書	710点	無料	967人
第70回書の友全国書道展覧会	2/28～3/7	1 2 3 4 5	書	2,730点	無料	1,753人
第4回遊美塾・広島 写真展	3/7～3/14	2	写真	100点	無料	467人
第27回ROSÉ野ばら会作品展	3/7～3/14	3 4	絵画	92点	無料	452人
第20回紅葉書道会展	3/14～3/21	1	絵画、書	58点	無料	291人
有富 菜子展	3/14～3/21	2	絵画	31点	無料	369人

展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	出 品 点 数	入 場 料 金	入 場 者 数
田中 啓子展	3/14～3/21	3	絵画、彫塑、工芸、書	39点	無料	364人
Image photographart 2022	3/14～3/21	4	写真、他(掛け軸)	54点	無料	476人
第40回彩友会展	3/14～3/21	5	絵画	68点	無料	493人
西尾 裕展	3/21～3/28	2	絵画	25点	無料	286人
第50回合同美術展	3/21～3/28	3 4 5	絵画・工芸・書・写真	152点	無料	606人
飯田恒彦写真展 オブジェの森・臥龍に生きる	3/28～4/4	1	写真	40点	無料	400人
書の友 70周年書道展	3/28～4/4	2 3 4	書	99点	無料	1,210人

## 7 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。

会員数 623人(個人429人 家族174人 学生7人 賛助12人 特別賛助1人)

令和3年度は、新型コロナウイルス拡大防止対策に伴い、友の会事業は必要最小限の活動となり、また特別展の度重なる中止により、大幅な会員の減少となった。

### (1) 会報の発行

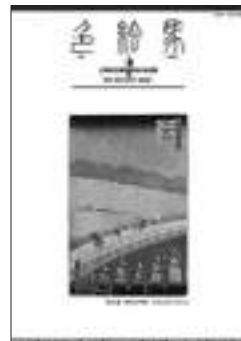
- ・発行 94号、95号、96号、97号
- ・配布先 会員、国内の美術館等



『色絵馬』No.94



『色絵馬』No.95



『色絵馬』No.96



『色絵馬』No.97

### (2) 美術情報及び友の会ニュースの発行

- ・美術情報 124号、125号、126号、127号
- ・友の会ニュース 176号 ~181号

### (3) 所蔵作品展のボランティアによるギャラリーガイド

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、停止

### (4) ボランティア・ギャラリーガイド研修

#### ◆所蔵作品展研修(美術館共催)

令和3年8月7日(土) 19人

#### ◆ギャラリーガイド研修

令和3年12月4日(土) 19人

### (5) 特別展関連・講演会(美術館と共催)

#### ◆令和3年4月24日(土)《南薫造》展関連

演題：「南薫造とその周辺」

講師：倉橋 清方(元呉市立美術館 館長)

参加者：78名

#### ◆令和3年10月9日(土)《はるかなる古伊万里 400年の物語》展関連

演題：「世界に羽ばたいた古伊万里－江戸から明治へ－」

講師：大橋 康二(佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問)



2021. 10. 9

参加者：103人

◆令和3年12月17日(金)《大広重 東海道五十三次と雪月花 抒情の世界》展関連

演題：「広重 東海道五十三次のミステリー」

講師：中右 瑛(本展監修者・国際浮世絵学会常任理事)

参加者：120人



2021. 12. 17

◆令和4年2月26日(土)《第68回日本伝統工芸展》関連

オンライン講演会

演題：「伝統工芸と創作－作家の工芸を考える」

講師：唐澤 昌宏(国立工芸館 館長)

参加者：52人

(6) 美術鑑賞の旅

◆お散歩美術鑑賞会

◇ひろしま美術館「私のパリ パリの私－荻須高德展」

期日：令和4年3月6日(日)

講師：森 静花(ひろしま美術館学芸員)

参加者：17人

◆日帰り美術鑑賞旅行 未実施

◆宿泊美術鑑賞旅行 未実施



2022. 3. 6

## 8 その他取組(図書室漫画コーナー設置)

令和3(2021)年9月16日(木)の「秋の所蔵作品展 名品の森Ⅰ」開幕に合わせ、1階図書室内に美術や美術館に関連する漫画を集めた「アートマンガコーナー」を新設した。漫画という若年層にも親しみやすい媒体を通して、来館者の美術への関心や親しみを醸成するとともに、図書室内の関連書籍を合わせて参照することで、美術への知識を深めることのできる場を提供した。開設時に115冊、令和3年度末時点で148冊を配架している。所蔵タイトル(50音順)は以下の通り。



開設時に115冊、令和3年度末時点で148冊を配架している。所蔵タイトル(50音順)は以下の通り。

作 者	タ イ ト ル	出 版 社	巻 数	刊 行 年
小玉ユキ	『青の花 器の森』	小学館	1～8巻(連載中)	2018年～
大久保圭	『アルテ』	徳間書店	1～15巻(連載中)	2014年～
岡田屋愉一	『大江戸国芳よしづくし』	日本文芸社	全1巻	2017年
森薫	『乙嫁語り』	KADOKAWA	1～13巻(連載中)	2009年～
東村アキコ	『かくかくしかじか』	集英社	全5巻	2012年～2015年
細野不二彦	『ギャラリーフェイク』	小学館	1～35巻(連載中)	1992年～
久世番子	『宮廷画家のうるさい余白』	白泉社	1巻～	2018年～
浜田咲良	『金曜日はアトリエで』	KADOKAWA	1～3巻(連載中)	2020年～
芳井アキ	『国宝のお医者さん』	KADOKAWA	全2巻	2019年～2020年
二宮敦人/原作、土岐篤子/漫画	『最後の秘境 東京藝大 天才たちのカオスな日常』	新潮社	全4巻	2019年～2021年
穂積	『さよならソルシエ』	小学館	全2巻	2013年
杉浦日向子	『百日紅』	ちくま文庫	全2巻	1996年
山口晃	『すゝしろ日記』	羽鳥書房	全3巻	2009年～2018年
横山裕一	『世界地図の間』	イースト・プレス	全1巻	2013年
鷹取ゆう	『ただいま収蔵品整理中!』	河出書房新社	全1巻	2021年
塵芥居士	『丁寧な暮らしをする餓鬼』	KADOKAWA	全2巻	2020年～2021年
近藤聡乃	『ニューヨークで考え中』	亜紀書房	1～3巻(連載中)	2015年～2020年
羽海野チカ	『ハチミツとクローバー』	集英社	全10巻	2002年～2006年
かっぴー/原作、nifuni/漫画	『左ききのエレン』	集英社	1～17巻(連載中)	2017年～
山口つばさ	『ブルーピリオド』	講談社	1～11巻(連載中)	2017年～
早良朋	『へんなものみっけ!』	小学館	1～6巻(連載中)	2017年～
石井誠治/原案、坪郷絵美/作画	『マンガふるさとへの偉人 颯光』	北広島町教育委員会	全1巻	2022年
田村由美	『ミステリと言う勿れ』	小学館	当館外観が描かれた2巻のみ	2018年～
相澤いくえ	『モディリアアーニにお願い』	小学館	全5巻	2016年～2021年
にしうら染	『モネのキッチン 印象派のレシピ』	秋田書店	1～2巻(連載中)	2018年～
松本大洋	『ルーヴルの猫』	小学館	全2巻	2017年



# Ⅳ 事業実施状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで(新型コロナウイルス感染拡大により中止した事業を含む。)

事業名	事業内容	実施期間
展覧会		
55,411名		
特別展	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
33,544名 (4,389名)	「没後70年 南薫造」	4月20日～5月9日 ※特別鑑賞日: 6月21日～6月23日 ※臨時休館: 5月10日～6月20日
(中止)	【広島県主催事業】「第9回新県美展(第73回広島県美術展)」	6月26日～7月11日 ※中止に伴い、 10月12日～12月31日 まで「広島県Web公募美術展」を開催
(8,643名)	「藤子不二雄(A)展 — (A)の変コレクション —」	7月21日～8月6日 ※臨時休館:8月7日～
(15,025名)	「はるかなる古伊万里 400年の物語」	10月8日～12月5日
(5,487名)	「大広重展—東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界—」	12月17日～1月10日 ※臨時休館:1月11日～
(中止)	第68回日本伝統工芸展	2月16日～3月6日
所蔵作品展	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時 ※臨時休館: 5月10日～6月20日 8月7日～9月12日 9月16日～9月30日 1月11日～3月6日
21,867名		
教育普及	特別展、所蔵作品展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。昨年度に引き続き、オンラインでも実施した。	
一般		
美術講演会		
363名 (78名)	「南薫造とその周辺」 講師：倉橋 清方(元・呉市立美術館長)	4月24日 (13:30～)
(中止)	「色彩画家・南薫造の生涯と芸術」 講師：藤崎 綾(当館主任学芸員)	5月22日 (13:30～)
(103名)	「世界に羽ばたいた古伊万里—江戸から明治へ—」 講師：大橋 康二(佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問)	10月9日 (13:30～)
(130名)	「広重 東海道五十三次のミステリー」 講師：中右 瑛(本展監修者/国際浮世絵学会常任理事)	12月17日 (13:30～)
(52名)	オンライン開催「伝統工芸と創作—作家の工芸を考える」 講師：唐澤 昌宏(国立工芸館館長)	2月26日 (13:30～)
美術講座		
95名 (95名)	「古伊万里の魅力」 講師：岡地 智子(当館学芸員)	11月3日 (13:30～)
リレートーク	ワイヤレスガイド使用	
16名		
16名	所蔵作品展	
(中止)	山下 寿水(当館主任学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)	5月13日 (15:00～)
(中止)	角田 新(当館主任学芸員)、神内 有理(当館主任学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)	6月3日 (15:00～)
(7名)	角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、山下 寿水(当館主任学芸員)	7月30日 (15:00～)
(中止)	隅川 明宏(当館学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)	8月6日 (15:00～)

事業名	事業内容	実施期間
	(4名) 山下 寿水(当館主任学芸員)、森 万由子(当館学芸員)	10月22日 (15:00～)
	(中止) 角田 新(当館主任学芸員)、神内 有理(当館主任学芸員)、 福田 浩子(当館学芸課長)	<del>12月10日 (15:00～)</del>
	(中止) 森 万由子(当館学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>1月21日 (15:00～)</del>
	(5名) 角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、 隅川 明宏(当館学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)	3月22日 (15:00～)
スライドトーク		
	111名	
	- 南薫造展	
	(中止) 藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>5月14日 (11:00～)</del>
	(中止) 藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>5月14日 (18:00～)</del>
	(中止) 藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>5月21日 (11:00～)</del>
	(中止) 藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>5月21日 (18:00～)</del>
	(中止) 藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>6月11日 (11:00～)</del>
	(中止) 藤崎 綾(当館主任学芸員)	<del>6月11日 (18:00～)</del>
	92名 古伊万里展	
	(17名) 岡地 智子(当館学芸員)	10月22日 (11:00～)
	(6名) 岡地 智子(当館学芸員)	10月22日 (17:00～)
	(15名) 岡地 智子(当館学芸員)	11月12日 (11:00～)
	(7名) 岡地 智子(当館学芸員)	11月12日 (17:00～)
	(11名) 岡地 智子(当館学芸員)	11月19日 (11:00～)
	(4名) 岡地 智子(当館学芸員)	11月19日 (17:00～)
	(22名) 岡地 智子(当館学芸員)	12月3日 (11:00～)
	(10名) 岡地 智子(当館学芸員)	12月3日 (17:00～)
	19名 大広重展	
	(19名) 隅川 明宏(当館学芸員)	1月7日 (10:30～)
	(中止) 隅川 明宏(当館学芸員)	<del>1月28日 (10:30～)</del>
ギャラリートーク	ワイヤレスガイド使用	
	7名	
	7名 大広重展	
	(7名) 隅川 明宏(当館学芸員)	12月24日 (10:30～)
	(中止) 隅川 明宏(当館学芸員)	<del>1月14日 (10:30～)</del>
インスタギャラリートーク	オンラインによるギャラリートークライブ配信	
	1,354名	
	114名 南薫造展	
	(53名) 角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、森 万由子(当館学芸員)	4月27日 (17:00～)
	(61名) 角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、森 万由子(当館学芸員)	6月1日 (17:00～)
	140名 古伊万里展	
	(55名) 岡地 智子(当館学芸員)	10月26日 (17:00～)
	(85名) 岡地 智子(当館学芸員)	11月16日 (17:00～)
	132名 大広重展	
	(64名) 隅川 明宏(当館学芸員)	12月23日 (17:00～)
	(68名) 隅川 明宏(当館学芸員)	1月20日 (17:00～)
	209名 日本伝統工芸展	
	(61名) 金城一國齋(漆芸)	2月18日 (13:30～)
	(52名) 木村 芳郎(陶芸)	2月24日 (17:00～)
	(35名) 高山 尚也(漆芸)	2月28日 (17:00～)
	(34名) 菅坂 安子(七宝)	3月3日 (17:00～)
	(27名) 粟根 仁志(七宝)	3月4日 (17:00～)
	759名 所蔵作品展	
	(43名) 「富本憲吉とバーナード・リーチ、板谷波山～南薫造と親交を結んだ陶芸家たち～」 岡地 智子(当館学芸員)	5月11日 (16:30～)
	(45名) 「南薫造と交友の画家たち」 角田 新(当館主任学芸員)	5月25日 (16:30～)

事業名	事業内容	実施期間
(46名)	「どうぶつさまざまーお庭の鯉から伝説の生き物まで」 隅川 明宏(当館学芸員)	7月15日(17:00～)
(50名)	「三代金城一国斎 広島の漆工芸・高盛絵」 岡地 智子(当館学芸員)	8月12日(16:00～)
(85名)	「中央アジアの刺繍と衣装 #乙嫁たちの手仕事2」 福田 浩子(当館学芸課長)	10月18日(17:00～)
(90名)	「ウェルカムギャラリー・オンラインギャラリートーク」 森本ケンタ(ミュージシャン)、神内 有理(当館主任学芸員)	11月9日(17:30～)
(93名)	「没後110年 小林千古ーアメリカで出会った夢」 角田 新(当館主任学芸員)	11月30日(17:00～)
(83名)	「菅井汲のボルシェ・オンラインギャラリートーク」 森本ケンタ(ミュージシャン)、角田 新(当館主任学芸員)	12月1日(17:30～)
(75名)	「小特集 丸木位里と船田玉樹ー芸州美術協会の仲間」 神内 有理(当館主任学芸員)	12月7日(17:00～)
(56名)	「ウェルカムギャラリー」 神内 有理(当館主任学芸員)	1月27日(12:00～)
(48名)	「生誕110年 塩出英雄の芸術」 隅川 明宏(当館学芸員)	2月3日(17:00～)
(61名)	「新収蔵品紹介」 角田 新(当館主任学芸員)、藤崎 綾(当館主任学芸員)、 隅川 明宏(当館学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)	2月10日(17:00～)
(54名)	「SL機関士画家 太田忠」 角田 新、藤崎 綾(当館主任学芸員)	3月15日(17:00～)
(64名)	「新収蔵品紹介」 福田 浩子(当館学芸課長)	3月29日(17:00～)
対話型鑑賞		
30名		
30名	所蔵作品展	
(6名)	オンライン 森 万由子(当館学芸員)	5月29日(14:00～)
(中止)	展示室(対面) 森 万由子(当館学芸員)	<del>7月3日(14:00～)</del>
(中止)	展示室(対面) 森 万由子(当館学芸員)	<del>8月21日(14:00～)</del>
(4名)	オンライン 森 万由子(当館学芸員)	9月4日(14:00～)
(2名)	オンライン 森 万由子(当館学芸員)	10月30日(14:00～)
(3名)	オンライン 森 万由子(当館学芸員)	11月13日(14:00～)
(7名)	オンライン ゲスト：森本ケンタ(ミュージシャン) 森 万由子(当館学芸員)	11月27日(14:00～)
(6名)	オンライン 森 万由子(当館学芸員)	3月5日(14:00～)
(2名)	オンライン 森 万由子(当館学芸員)	3月26日(14:00～)
ワークショップ		
104名		
80名	古伊万里展	
(80名)	有田焼 絵付け体験	11月26日～27日
-	大広重展	
(中止)	学芸員とお庭散策「縮景園の名所を歩く 広重の名所絵にちなんで」	<del>1月15日(13:30～)</del>
24名	所蔵作品展	
(8名)	オンライン スズニ刺繍ワークショップ「19世紀のスズニを研究する」 福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	10月23日(13:00～)
(8名)	オンライン スズニ刺繍ワークショップ「19世紀のスズニを研究する」 福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	11月6日(13:00～)

事業名	事業内容	実施期間
(8名)	オンライン スザニ刺繍ワークショップ「19世紀のスザニを研究する」 福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	11月20日 (13:00～)
コンサート	オンラインで実施	
165名	所蔵作品展(ウェルカムギャラリー)	
165名		
(87名)	「森本ケンタとウェルカムギャラリー・ギター&チェロによるオンラインコンサート」 森本ケンタ(ギター)、川岡 光一(チェロ)	11月17日 (17:30～)
(78名)	「森本ケンタとウェルカムギャラリー・ギターデュオによるオンラインコンサート」 森本ケンタ(ギター)、小田原政広(ギター)	12月9日 (18:00～)
児童・生徒		
学校、地域との関連事業 美術作品鑑賞教室(作品持参)	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
親子ギャラリートーク	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00～) 中止
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在336種)	
ワークショップ		
60名		
56名	南薫造展	
(56名)	絵画ワークショップ 呉市立安浦小学校6年生 講師：角田 知扶(呉市文化振興課学芸員)、角田 新・弘津 かおる・ 神内 有理・一色 直香(当館職員)	令和3年2月22日 ※本事業のみ 令和2年度実施
4名	伝統工芸展	
(4名)	子供ワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」 福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	1月22日
日本伝統工芸展出張授業	例年、希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行っていたが、コロナ感染拡大のため、オンラインに切り替えて実施した。児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
67名		
(53名)	府中市立国府小学校4年生 講師：今田 拓志(陶芸)	11月29日
(14名)	神石高原町立来見小学校4年生 講師：金城一國齋(漆芸)	12月1日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	中止
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	中止
(一般ガイド) 0名 (団体ガイド) 0名	火～金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00からも実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等	県民ギャラリー 利用団体数 69団体、利用日数 414延日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	令和3年4月5日 ～令和4年4月4日
51,847名		
利用者	講堂 利用団体数 68団体、利用日数 85延日	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
4,118名		

# 1 広島県立美術館における新型コロナウイルスの影響と対策、情報発信について

## (1) 臨時休館による美術館活動への影響

当館も、世界的に多岐にわたり大きな影響を及ぼした新型コロナウイルスの影響によって、平成31・令和元年度から令和3年度にかけて新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館した。令和3年度は、5月10日～6月20日、8月7日～9月30日の2度にわたる臨時休館となった。

臨時休館により、各関係者調整のうえ、次のように所蔵作品展と特別展の開催会期変更あるいは延長を行なった。所蔵作品展では4期すべてについて開催日数減少となり、特別展ははるかなる古伊万里展のみ全会期開催できたものの、その他は会期短縮あるいは中止となった。

また、開館状態であっても講演会やギャラリートーク、ワークショップなどのイベントを実施中止としたことから、引き続き国内外の博物館・美術館同様にウェブを活用したイベント実施、情報発信に注力し、現在に至る。縮景園の梅の実摘果行事に合わせて行ってきた手で見える展覧会や当館友の会ボランティアによる所蔵作品展ガイドも見合わせとなった。一方、第68回日本伝統工芸展は開催中止となったが、当館初のウェビナー講演会を開催するなど、可能なイベントはオンラインに置きかえて実施した。さらに、当館所蔵作品や展示風景等を使用したウェブ会議向けの背景やぬりえといったコンテンツを当館ホームページあるいはSNSを通じて配布した。

その他、令和3年度の新型コロナ対応による変更等については、本年報の各展覧会ページを含む各項目もあわせて参照されたい。

## (2) 展覧会開催状況

### 【2階展示室】

当初予定	変更後	変更イベント	臨時休館
春の所蔵作品展 「没後70年 南薫造」展に ちなんで (2021/ 4/29 - 7/ 4)	春の所蔵作品展 「没後70年 南薫造」展に ちなんで (2021/ 4/29 - 5/ 9、6 /21 - 7/ 4)	リレートーク中止(5 /13、6/ 3) 対話型鑑賞会中止(7/ 3)	2021/ 5 /10 - 6/20
夏の所蔵作品展 サマーミュージアム ど うぶつあつまれ! (2021/ 7/ 8 - 9/12)	夏の所蔵作品展 サマーミュージアム ど うぶつあつまれ! (2021/ 7/ 8 - 8/ 6)	リレートーク中止(8/ 6) 対話型鑑賞会中止(8 /21)	8/ 7 - 9/12
秋の所蔵作品展 名品の森 I (2021/ 9/16 - 12/24)	秋の所蔵作品展 名品の森 I (2021/10/ 1 - 12/24)	リレートーク中止(10/ 1)	9/16 - 9/30
冬の所蔵作品展 名品の森 II (2022/ 1/ 2 - 4/17)	冬の所蔵作品展 名品の森 II (2022/ 1/ 2 - 1/10、3 / 7 - 4/17)	リレートーク中止(1 /21、3/22)	1/11 - 3/ 6



【3階展示室】

当初予定	変更後	変更イベント	臨時休館
没後70年 南 薫 造 (2021/4/20-6/13)	没後70年 南 薫 造(4/20-5/10)、(特別観賞日 6/21-6/23)	ギャラリートーク中止 (5/14、21、6/11) 講演会中止(5/22) マルシェイベント中止 (5/22)	2021/5/10-6/20
第9回新県美展(第73回広島県美術展)(6/26-7/11)	中止		
藤子不二雄 <sup>Ⓐ</sup> 展— <sup>Ⓐ</sup> の変 コレクション—(7/21-9/26)	藤子不二雄 <sup>Ⓐ</sup> 展— <sup>Ⓐ</sup> の変 コレクション—(7/21-8/6)		8/7-9/30
はるかなる古伊万里 400年の物語(10/8-12/5)	はるかなる古伊万里 400年の物語(10/8-12/5)	陶器市イベント中止 (10/8-10/10)	
大広重展—東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界—(12/17-2022/2/6)	大広重展—東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界—(12/17-2022/1/10)	スライドトーク中止 (1/28) ギャラリートーク中止 (1/14) 庭散策イベント中止 (1/15)	
第68回日本伝統工芸展 (2022/2/16-3/6)	中止	子供ワークショップ (1/22対面→zoom) スライドトーク(2/18、 3/4対面→インスタライブ) 講演会(2/19→2/26 ウェビナー)	2022/1/11-3/6

## V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が令和3年度に行なった業務を報告する。内容は、1 美術館内での業務等(館主体事業)、2 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3 調査・研究活動、4 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

福田 浩子(学芸課長、工芸)	角田 新(主任学芸員、日本洋画)
藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)	神内 有理(主任学芸員、日本画)
山下 寿水(主任学芸員、西洋美術)	隅川 明宏(学芸員、日本画)
岡地 智子(学芸員、工芸)	森 万由子(学芸員、西洋美術)

### ■ 福田 浩子

#### 1 美術館内での業務等

##### 【担当展覧会】

- ・特別展「没後70年 南薫造」(事務局長)
- ・特別展「藤子不二雄④展 ― ④の変コレクション ―」(事務局長)
- ・特別展「はるかなる古伊万里 400年の物語」(事務局長)
- ・特別展「大広重展 ―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界―」(事務局長)
- ・特別展「第68回日本伝統工芸展」(事務局長)
- ・春の所蔵作品展(全体チェック)
- ・夏の所蔵作品展(全体チェック)
- ・秋の所蔵作品展(全体チェック、工芸担当)
- ・冬の所蔵作品展(全体チェック)

##### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「日本伝統工芸展」記念講演会ウェビナー進行(2/26)
- ・                〃                インスタギャラリートーク進行および補助(2/18、3/3、4)
- ・                〃                こどもワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」(1/22)
- ・秋の所蔵作品展スザニ刺繍ワークショップ(オンライン10/23、11/6、20)
- ・                〃                インスタギャラリートーク(10/18工芸担当)
- ・                〃                友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/7)
- ・冬の所蔵作品展インスタギャラリートーク(3/29工芸担当)
- ・博物館実習(8/16美術館と学芸活動)、(8/18作品取扱)

##### 【広報活動】

###### 所蔵作品展

- ・NHK広島・全国ニュース(9/27)

##### 【その他】

- ・てのひらミュージアムガイドへの協力(4/15-18)
- ・アートと共生一体型プロジェクトへの協力
- ・東京外国語大学学生インタビュー(12/20)

#### 2 美術館外での業務等

##### 【館外での発表など】

- ・全国美術館会議情報・資料部会オンライン参加(5/21)

### 3 調査研究活動

#### 【館内外での調査・研究】

- ・染織作品調査（12/24）
- ・陶磁作品調査（10/29、11/21）
- ・漆工作品調査（5/10、6/7、16、7/22）

#### 【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑮三代金城一国斎 広島の漆工芸・高盛絵』pp.1、3、7-13、令和3年7月
- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑳清水南山 彫金に生きる』pp.3-4、7-10、令和4年2月
- ・「中央アジアの刺繍布スザニについて(2) 令和3年度スザニ刺繍ワークショップ報告」、『広島県立美術館研究紀要』第25号、令和4年3月
- ・「染織品の展示と方法について(2) 令和3年度 秋の所蔵作品展 中央アジアの衣装と刺繍」の場合を中心に」、『広島県立美術館研究紀要』第25号、令和4年3月、共著

#### 【館外出版物への執筆】

- ・「連載：中央アジアの豊かな工芸世界 Vol.1 刺繍布スザニの基礎知識」『旅とテキスタイル』令和3年11月11日、<https://textile-journey.jp/column/1111/>
- ・渡辺博子作品紹介『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第97号、広島県立美術館友の会、令和4年1月
- ・作品解説（分担執筆）『はるかなる古伊万里 400年の物語』展図録、令和3年10月

### 4 社会貢献活動等

#### 【審査委員等】

- ・令和3年度県民文化奨励賞推薦（ケンシン地域振興財団）
- ・令和3年度環境啓発ポスター・標語コンクール審査委員（広島県環境保健協会）

#### 【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

## ■ 角田 新

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「没後70年 南薫造」（副担当）
- ・特別展「藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>展 ― <sup>Ⓐ</sup>の変コレクション ―」（主担当）
- ・特別展「国立国際美術館コレクション 現代アートの100年」（次年度・副担当）
- ・春の所蔵作品展（日本洋画担当）
- ・秋の所蔵作品展（日本洋画担当）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習（8/16美術館の展示環境・展示手法）、（8/19作品取扱）
- ・特別展「南薫造展」インスタギャラリートーク（4/27、6/1）
- ・「<sup>ク</sup> 団体鑑賞対応（6/10呉市立安浦小学校）
- ・春の所蔵作品展インスタギャラリートーク（5/25日本洋画担当）
- ・夏の所蔵作品展リレートーク（7/30日本洋画担当）
- ・秋の所蔵作品展インスタギャラリートーク（11/30・12/1いずれも日本洋画担当）
- ・「<sup>ク</sup> 友の会ギャラリーガイドレクチャー（8/7）
- ・冬の所蔵作品展リレートーク（3/22）
- ・「<sup>ク</sup> インスタライブ（2/10・3/15いずれも日本洋画担当）

#### 【広報活動】

##### 藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>展

- ・『色絵馬』（広島県立美術館友の会会報）第95号（7/10発行）
- ・「美術館あれこれ」『月刊 経済春秋』7月号（6/25発行）

- ・「テレビ派」中継（広島テレビ7/20）
- ・「ユーガッタ レディオ」（エフエムおのみち7/27）
- ・「みどりのオアシス」（エフエムふくやま7/28）
- ・「てっぺん」（広島テレビ8/6）

## 2 美術館外での業務等

- ・「美術ひろしま」編集委員会（7/9、10/12、1/14、3/3広島市文化財団）

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- 地域美術研究・作品調査：林健（7/29）、南薫造（12/22）、山路商（3/25）
- 所蔵作家調査：野見山暁治（1/11）

### 【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド<sup>®</sup> 圓鍔勝三 世界を包み込む彫刻』、令和4年2月

## ■ 藤崎 綾

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「没後70年 南薫造」（主担当）
- ・特別展「第68回日本伝統工芸展」（事務担当）
- ・夏の所蔵作品展（日本洋画担当）
- ・冬の所蔵作品展（日本洋画担当）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習（8/17：作品取扱）
- ・特別展「南薫造展」講演会進行（4/24）
- ・ インスタギャラリートーク（4/27、6/1）
- ・ 団体鑑賞対応（6/10呉市立安浦小学校）
- ・夏の所蔵作品展リレートーク（7/30日本洋画担当）
- ・冬の所蔵作品展リレートーク（3/22）
- ・ インスタギャラリートーク（2/10・3/15いずれも日本洋画担当）
- ・特別展「日本伝統工芸展」記念講演会進行補助（2/26）
- ・ インスタギャラリートーク補助（2/18、24、28、3/3、4）
- ・ 出張授業（11/29府中市立国府小学校、12/1神石高原町立来見小学校：授業支援  
いずれもオンライン開催）
- ・施設見学対応（12/18広島市立大学）

#### 【広報活動】

##### 南薫造展

- ・『色絵馬』（広島県立美術館友の会会報）第94号（4/10発行）
- ・「展覧会紹介」「作品解説」『第410回、第411回広響プログラム』（4/18、5/30発行）
- ・「ひるまえ直送便」（NHK 4/20）
- ・「美術館あれこれ」『月刊 経済春秋』5月号（4/25発行）
- ・「You Gotta Radio」（エフエムおのみち4/27）
- ・「本名正憲のおはようラジオ」（RCCラジオ5/4）

##### 日本伝統工芸展

- ・『色絵馬』（広島県立美術館友の会会報）no.97（1/10発行）
- ・NHK朝、昼、夕方ニュース（2/14）

## 2 美術館外での業務等

- ・「色彩画家 南薫造の生涯と芸術」南薫造展講演会（7/31久留米市美術館）

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- 地域美術研究・作品調査：南薫造（12/22）、山路商（3/25）
- 展覧会関係調査：高山尚也（11/1）
- 所蔵作家調査：野見山暁治（1/11）

### 【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド<sup>⑩</sup> 鬚光 日本洋画の精華』、令和4年2月

### 【館外出版物への執筆】

- ・全国美術館会議機関誌『ZENBI』21号（地域美術研究部会活動報告）

## 4 その他

- ・全国美術館会議 総会（部会活動報告：6/4オンライン参加）、幹事会（11/10オンライン参加）
- ・全国美術館会議 地域美術研究部会幹事（9/17・11/12部会長・幹事打合せ、10/25第12回会合 いずれもオンライン開催、12/13学芸員研修会会場下見・打合せ、3/9事前打合せ・3/10第36回学芸員研修会（司会担当）：三重県立美術館）
- ・公益社団法人青少年育成広島県民会議・図画審査（10/4）
- ・美術史学会2021年度美術館博物館委員会東西合同シンポジウム「美術史が生まれる現場から」（3/12オンライン参加）

## ■ 神内 有理

---

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「大広重展—東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界—」（副担当）
- ・所蔵作品展（全体統括）
- ・春の所蔵作品展（日本画担当）
- ・秋の所蔵作品展（日本画担当）
- ・所蔵作品展「ウェルカムギャラリー」開設（主担当）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習（副担当）
- ・特別展「南薫造展」地域連携事業 呉市立安浦小学校児童制作絵画の展示（4/10-6/23広島県立美術館、7/14-8/2街かど市民ギャラリー90）
- ・秋の所蔵作品展インスタギャラリートーク（12/7日本画担当）
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー（8/7）
- ・ウェルカムギャラリー・オンラインギャラリートーク（11/9※森本ケンタ氏とともに、1/27）
- ・生涯学習施設見学対応（12/18広島市立大学）

#### 【広報活動】

##### 南薫造展

- ・「南薫造と旅する瀬戸内の美」マップ作成（地域連携事業）

### 2 美術館外での業務等

- ・「画家・和高節二の絵と人生」オンライン講演会（11/7和高節二と向原）

### 3 調査研究活動

#### 【館内外での調査・研究】



所蔵作家調査：児玉希望（12／20-21、3／22-24）

【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑰丸木位里 前衛の日本画家』、令和3年9月 pp.1-4、7-8、11-12
- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑱奥田元宋 心象の山水』、令和4年2月 pp.1-6、9-12

【館外出版物への執筆】

- ・「表紙作品解説 丸木スマ《動物》」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第95号、広島県立美術館友の会、令和3年7月
- ・「表紙作品解説 和高節二《牡牛》」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第97号、広島県立美術館友の会、令和4年1月

【その他】

- ・科学研究費助成事業 基盤研究（C）「浮世絵から照射する日本近代美術—日本近代美術再考」（研究分担者）

#### 4 その他

【外部委員など】

- ・京都造形芸術大学通信教育部非常勤講師（博物館生涯学習概論担当）

## ■ 山下 寿水

---

### 1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「はるかなる古伊万里 400年の物語」（副担当）
- ・特別展「国立国際美術館コレクション 現代アートの100年」（次年度・主担当）
- ・春の所蔵作品展（西洋美術担当）
- ・夏の所蔵作品展（西洋美術担当）
- ・秋の所蔵作品展（西洋美術担当）

【教育支援(教育普及)】

- ・夏の所蔵作品展リレートーク（7／30西洋美術担当）
- ・秋の所蔵作品展リレートーク（10／22西洋美術担当）
- ・女学院大学「博物館経営論」受講者への所蔵作品（ダリ《ヴィーナスの夢》）紹介（12／11）

### 2 調査研究活動

【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑱サルバドール・ダリ 超現実主義者の夢』 pp.1-6、令和3年9月

【館外出版物への執筆】

- ・「展覧会の舞台裏 [9] 『ヴィーナスの夢』かくも長き不在（下）」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第94号、広島県立美術館友の会、令和3年4月
- ・「広島芸術学会 芸術展示《制作と思考》第12回展「Sweet Home—家庭の美学」（報告）」『広島芸術学会年報第34号 芸術研究2021』、広島芸術学会、令和3年9月

### 3 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会 委員
- ・日本展示学会
- ・ICOM
- ・令和3年度（第22回）広島県献血推進ポスター審査員（事前審査および6／23審査）

## ■ 隅川 明宏

---

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「大広重展—東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界—」(主担当)
- ・冬の所蔵作品展(日本画担当)

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「大広重展」記念講演会進行(12/17)
- ・ 〃 〃 団体解説(12/17)
- ・ 〃 〃 スライドトーク(1/7)
- ・ 〃 〃 ギャラリートーク(12/24)
- ・ 〃 〃 インスタギャラリートーク(12/23、1/20)
- ・夏の所蔵作品展インスタギャラリートーク(7/15日本画担当)
- ・冬の所蔵作品展インスタライブ(2/3、10いずれも日本画担当)
- ・ 〃 〃 リレートーク(3/22日本画担当)

#### 【広報活動】

- ・特別展「大広重展」テレビ・ラジオ対応(12/17、22)
- ・ 〃 〃 新聞・雑誌寄稿(『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第96号、『月刊 経済春秋』1月号)

### 2 美術館外での業務等

#### 【講座・講演・シンポジウム等】

- ・広島県主催「こどものトレジャーウォーク～広島を歴史を発見！広島城・縮景園編～」(7/28)
- ・廿日市市佐方市民センター講座「名勝縮景園の歴史と美意識」(10/21)
- ・広島市安公民館、安郷土史懇話会講座「縮景園と近世広島の絵画」(11/6)

### 3 調査研究活動

#### 【館内外での調査・研究】

- ・広島近世・近代美術に関する調査研究
- ・広島藩主浅野家伝来の美術品に関する調査研究

#### 【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド②⑩ 奥田元宋 心象の山水』、令和4年2月(分担)

#### 【館外出版物への執筆】

- ・「所蔵作品紹介 宋紫石」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第95号、令和3年7月
- ・「広島に息づく近世の名品 第32回 《縮景園山荘図》と幻の原本—西洋画風を取り入れた風景表現」『Grandeひろしま』VOL.35、令和3年12月

### 4 所属学会等

- ・広島芸術学会

## ■ 岡地 智子

---

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「はるかなる古伊万里 400年の物語」(主担当)
- ・特別展「第68回日本伝統工芸展」(副担当)
- ・春の所蔵作品展(工芸担当)
- ・夏の所蔵作品展(工芸担当)
- ・冬の所蔵作品展(工芸担当)

### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「古伊万里展」記念講演会進行(10/9)
- ・          〃          美術講座(11/3)
- ・          〃          スライドトーク(一般向け10/22、11/12、19、12/3)(団体向け11/12、18、19)
- ・          〃          インスタギャラリートーク(10/26、11/16)
- ・特別展「日本伝統工芸展」記念講演会進行補助(2/26)
- ・          〃          インスタギャラリートーク進行および補助(2/18、24、28、3/3、4)
- ・          〃          こどもワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」(1/22)
- ・          〃          出張授業(11/29府中市立国府小学校、12/1神石高原町立来見小学校：授業支援  
いずれもオンライン開催)
- ・春の所蔵作品展インスタギャラリートーク(5/11工芸担当)
- ・夏の所蔵作品展インスタギャラリートーク(8/12工芸担当)
- ・秋の所蔵作品展スザニ刺繍ワークショップ補助(オンライン10/23、11/6、20)
- ・冬の所蔵作品展インスタギャラリートーク(2/10工芸担当)
- ・          〃          リレートーク(3/22工芸担当)
- ・博物館実習(8/18作品取扱)

### 【研修・自己啓発】

- ・県・中堅I研修(11/11、24、25オンライン)
- ・全国美術館会議 保存研究部会第55回部会合(11/26オンライン)
- ・第48回東洋陶磁学会大会(12/11オンライン)
- ・東洋陶磁学会 2021年度第4回研究会(2/19オンライン)
- ・パナソニック汐留美術館「第20回 学芸員照明研究会」(3/2オンライン)
- ・全国美術館会議 第36回学芸員研修会(3/10オンライン)

### 【広報活動】

- ・特別展「古伊万里展」ラジオ対応(9/7、11/16 RCCラジオ、10/8 RCCラジオカー中継、10/11 FMふくやま「月曜♪きらリズム」、10/26 FMおのみち「You Gotta Radio」、11/12 RCCラジオ「本名正憲のおはようラジオ」)
- ・          〃          新聞・雑誌寄稿(『中国新聞』11/3付、『月刊経済春秋』11月号、『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第96号)

## 2 美術館外での業務等

- ・出張講座「はるかなる古伊万里 400年の物語展を楽しむ」(10/14府中北交流センター)

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- ・「古伊万里展」に関する調査(6/30-7/2佐賀県立九州陶磁文化館)
- ・作品調査(書見台：3/18奈良国立博物館)

### 【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑮三代金城一国斎 広島漆工芸・高盛絵』pp.5-6、令和3年7月
- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑳清水南山 彫金に生きる』pp.1-2、5-6、11-13、令和4年2月
- ・『第68回日本伝統工芸展こどもガイド 工芸技法キャラクター図鑑4』令和4年2月
- ・「広島県立美術館蔵《伊万里色絵花卉文輪花鉢》の来歴調査報告」『広島県立美術館研究紀要』第25号、令和4年3月
- ・「染織品の展示と方法について(2) 令和3年度 秋の所蔵作品展 中央アジアの衣装と刺繍」の場合を中心に、『広島県立美術館研究紀要』第25号、令和4年3月、共著

### 【館外出版物への執筆】

- ・「はるかなる古伊万里 400年の物語」(エッセイ)、章解説・作品解説・コラム解説(分担執筆)、「年

表]、「参考文献」『はるかなる古伊万里 400年の物語』展図録、令和3年10月

- ・「第67回日本伝統工芸展広島展報告」『日本工芸会中国支部会報』第27号、令和3年10月
- ・「展覧会の舞台裏 [10] 『色絵馬の近況 各地に受け継がれる柿右衛門様式之美』『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第97号、広島県立美術館友の会、令和4年1月

#### 4 所属学会等

- ・全国美術館会議保存研究部会、文化財保存修復学会、東洋陶磁学会

### ■ 森 万由子

#### 1 美術館内での業務等

##### 【担当展覧会】

- ・特別展「没後70年 南薫造」(副担当)
- ・特別展「藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>展 ―<sup>Ⓐ</sup>の変コレクション―」(副担当)
- ・特別展「安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校」(次年度・主担当)
- ・秋の所蔵作品展(西洋美術担当)
- ・冬の所蔵作品展(西洋美術担当)

##### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「没後70年 南薫造」インスタギャラリートーク補助(4/27、6/1)
- ・春の所蔵作品展 対話型鑑賞会(オンライン5/29)
- ・夏の所蔵作品展 対話型鑑賞会(オンライン9/4)
- ・秋の所蔵作品展 対話型鑑賞会(オンライン10/30、11/13、27)
- ・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　リレートーク(10/22)
- ・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/7)
- ・冬の所蔵作品展 対話型鑑賞会(オンライン3/5、26)
- ・博物館実習(8/18対話型鑑賞)
- ・施設見学対応(7/15県立広島大学、7/22広島大学、10/28、29、11/1、2 叡啓大学)

##### 【研修・自己啓発】

- ・県・中堅 I 研修(11/11、24、25 オンライン)
- ・日仏美術学会 第160・159(後半)回例会(7/3 オンライン)
- ・日仏美術学会/京都工芸繊維大学大学院デザイン・建築学系造形史研究室主催「国際シンポジウム：ポスト印象派から後世に継承されたユートピアの表象」(11/27-28 オンライン)
- ・日仏美術学会主催「シンポジウム「マネへのオマージュ：画家を取り巻く人々」」(3/5 オンライン)
- ・全国美術館会議 第36回学芸員研修会(3/10 オンライン)
- ・全国美術館会議 教育普及研究部会第57回会合(3/22 オンライン)
- ・日仏美術学会創立40周年記念シンポジウム「フランス美術研究の現在と未来——日仏学術交流の進展を目指して」(3/26-27 オンライン)

##### 【広報活動】

###### 所蔵作品展

- ・NHK広島ニュース(10/8)

#### 2 美術館外での業務等

- ・出張講座「話しながら見てみよう—みんなで楽しむ美術鑑賞—」(5/15リワークセンター大手町、オンライン)
- ・令和3年度広島県障害者文化芸術活動支援事業「みんなで楽しむおしゃべり鑑賞会」(10/16 オンライン)
- ・広島大学大学院人間社会科学研究科 特講「美術館と学校教育との連携 オンライン対話型鑑賞の実践から考える可能性」(2/2 オンライン)
- ・広島県健康福祉局ワクチン政策担当での業務(12/1-24)

### 3 調査研究活動

#### 【館内出版物への執筆・発表】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑩サルバドール・ダリ 超現実主義者の夢』pp.7-13、令和3年9月
- ・『広島県立美術館 ジュニア鑑賞ガイドブック』キャラクター・ストーリー原案、執筆・編集、令和3年9月

#### 【館外出版物への執筆・発表】

- ・「所蔵作品紹介 マックス・エルンスト」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』第96号、広島県立美術館友の会、令和3年10月
- ・「新潟県立近代美術館所蔵モーリス・ドニ作《バックス祭》研究を回顧して」一橋大学大学院言語社会研究科主催『シンポジウム 日本の美術館とナビ派—地方美術館から考える研究の可能性』研究発表(12/13オンライン)

### 4 所属学会等

- ・全国美術館会議教育普及研究部会、日仏美術学会、美学会、早稲田大学美術史学会

## Ⅵ 入館者数一覧

展 覧 会 名	所蔵作品展 臨時休館 5/10～6/20 8/7～9/12 9/16～9/30 1/11～3/6	特 別 展					
		没後70年 南薫造 臨時休館5/10～6/13 特別鑑賞日6/21～6/23	第9回新県美展 (第73回広島県美術展) 中止	藤子不二雄 <sup>Ⓐ</sup> 展- <sup>Ⓐ</sup> の変コレクション- 臨時休館8/7～9/26	はるかなる古伊万里 400年の物語	大広重展-東海道五拾三次 と雪花 叙情の世界 臨時休館1/11～2/6	
開 催 期 日	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31	R3. 4. 20 ～ R3. 6. 13	R3. 6. 26 ～ R3. 7. 11	R3. 7. 21 ～ R3. 9. 26	R3. 10. 8 ～ R3. 12. 5	R3. 12. 17 ～ R4. 2. 6	
開 催 日 数	187 日	22 日	— 日	17 日	59 日	17 日	
個 人	一 般	1,226	1,150	—	2,002	4,806	1,370
	高・大学生	157	46	—	163	126	96
	小・中学生	—	—	—	578	96	69
	小 計	1,383	1,196	0	2,743	5,028	1,535
団 体	一 般	1,596	1,871	—	3,645	6,706	2,577
	高・大学生	404	52	—	104	57	80
	小・中学生	—	—	—	863	68	359
	小 計	2,000	1,923	0	4,612	6,831	3,016
有料入館者数	3,383	3,119	0	7,355	11,859	4,551	
招 待 者 等	18,484	1,270	—	1,288	3,166	936	
合 計 (観 覧 者 総 数)	21,867	4,389	0	8,643	15,025	5,487	
一 日 あ た り 観 覧 者 数	117	200	—	508	255	323	

(注) 「1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第9回新県美展(第73回広島県美術展)」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「没後70年南薫造展」、「第68回日本伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。



展 覧 会 名		第68回 日本伝統工芸展 中止	合 計	総 計
開 催 期 日		R4. 2. 16 ～ R4. 3. 6		
開 催 日 数		— 日	115 日	302 日
個 人	一 般	—	9,328	10,554
	高・大学生	—	431	588
	小・中学生	—	743	743
	小 計	0	10,502	11,885
団 体	一 般	—	14,799	16,395
	高・大学生	—	293	697
	小・中学生	—	1,290	1,290
	小 計	0	16,382	18,382
有料入館者数		—	26,884	30,267
招 待 者 等		—	6,660	25,144
合 計 (観 覧 者 総 数)		0	33,544	55,411
一 日 あ た り 観 覧 者 数		—	292	183

## Ⅶ 美術品等収集状況

### 1 分野別収集美術品数一覧

(令和4年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	242 (1)	3	351 (1)	15 (2-0)
	油 彩 画	230	62	292	547 (4)	4	843 (4)	211
	水 彩 画	89	4	93	217	0	310	1
	素 描	44	20	64	297	0	361	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	349	0	582	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑	8	23	31	72 (1)	0	103 (1)	6	
工 芸	112	1,184	1,296	329 (17)	4	1,629 (17)	6	
書	5	0	5	93	1	99	1 (1-0)	
美 術 資 料	2	2	4	718 (44)	0	722 (44)	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,923 (67)	12	5,145 (67)	262 (3-0)	

※( )内は3年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

## 2 収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	日本画	田辺玉田	四季山水図	19-20世紀	153.0×352.0(各隻)	紙本金地墨画彩色	寄附
2	油彩画	山路 商	アネモネ		20.6×27.0	油彩・板	寄附
3	油彩画	太田 忠	農村の秋(オーベルニュ地方)	1969(昭和44)	61.0×73.3	油彩・画布	寄附
4	油彩画	太田 忠	晩秋		61.1×80.6	油彩・画布	寄附
5	油彩画	福井芳郎	ヒロシマ		24.1×33.4	油彩・板	寄附
6	木彫	中谷翫古	古代雛		雌雛 H14.5×36.0×23.0 雄雛 H15.5×28.0×16.5	木彫彩色	寄附
7	陶磁	今井政之	象嵌彩灰被チャンカイ讃歌花壺	1989(平成元)	口径17.3、高29.0	陶	寄附
8	染織	杉谷富代	風の記憶	1980(昭和55)	165.3×165.0	染・布	寄附
9	染織	杉谷富代	月明かりに	1984(昭和59)	157.0×144.0	染・布	寄附
10	染織	渡辺溥子	紬織着物「薫風」	1974(昭和49)	衿63.0 丈167.0	絹・紬・緯緋	寄附
11	染織	渡辺溥子	紬織着物「竹林」	1984(昭和59)	衿65.0 丈169.5	絹・紬・経緯緋	寄附
12	染織	渡辺溥子	紬織着物「星影」	1988(昭和63)	衿67.0 丈170.0	絹・紬・経緯緋	寄附
13	染織	渡辺溥子	紬織着物「花連」	1993(平成5)	衿65.0 丈166.5	絹・紬・経緯緋	寄附
14	染織	渡辺溥子	紬織着物「星彩」	1994(平成6)	衿65.5 丈167.5	絹・紬・経緯緋	寄附
15	染織	渡辺溥子	紬織着物「みのり」	1997(平成9)	衿66.5 丈175.5	絹・紬・経緯緋	寄附
16	染織	渡辺溥子	紬織着物「おぼろ月」	1998(平成10)	衿64.0 丈170.0	絹・紬・経緯緋	寄附
17	染織	渡辺溥子	紬織着物「蛍影」	2000(平成12)	衿66.0 丈174.5	絹・紬・経緯緋	寄附
18	染織	渡辺溥子	紬織着物「光彩」	2002(平成14)	衿67.0 丈172.5	絹・紬・経緯緋	寄附
19	染織	渡辺溥子	紬織着物「瀬」	2004(平成16)	衿66.0 丈173.0	絹・紬・経緯緋	寄附
20	染織	渡辺溥子	紬織着物「桜の森」	2004(平成16)	衿65.0 丈177.0	絹・紬・経緯緋	寄附
21	染織	渡辺溥子	紬織着物「蛍影」	2005(平成17)	衿65.5 丈177.0	絹・紬・経緯緋	寄附
22	染織	渡辺溥子	紬織着物「奏」	2007(平成19)	衿68.0 丈172.5	絹・紬・経緋	寄附
23	染織	渡辺溥子	紬織着物「山並み」	2011(平成23)	衿64.5 丈173.0	絹・紬・経緯緋	寄附
24	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「薫風」の上衿	1974(昭和49)	102.7×17.5	絹・紬・緯緋	寄附
25	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「薫風」の下図	1974(昭和49)	54.0×39.5	紙	寄附
26	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「薫風」の裂	1974(昭和49)	15.0×36.4	絹・紬・緯緋	寄附
27	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「竹林」の上衿	1984(昭和59)	113.5×38.0	絹・紬・経緯緋	寄附
28	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「竹林」の下図	1984(昭和59)	19.0×39.2	紙	寄附
29	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「竹林」の下図	1984(昭和59)	19.0×39.2	紙	寄附
30	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「竹林」の裂	1984(昭和59)	26.0×19.5	絹・紬・経緯緋	寄附
31	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「星影」の下図	1988(昭和63)	38.5×53.5	紙	寄附
32	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「星影」の下図	1988(昭和63)	38.5×53.5	紙	寄附
33	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「星影」の裂	1988(昭和63)	15.5×38.3	絹・紬・経緯緋	寄附
34	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花連」の下図	1993(平成5)	12.5×40.0	紙	寄附
35	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花連」の下図	1993(平成5)	12.5×40.0	紙	寄附
36	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花連」の裂	1993(平成5)	14.0×40.0	絹・紬・経緯緋	寄附
37	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「みのり」の下図	1997(平成9)	29.8×42.0	紙	寄附
38	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「みのり」の下図	1997(平成9)	29.8×29.5	紙	寄附
39	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「みのり」の下図	1997(平成9)	42.0×59.5	紙	寄附

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
40	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「みのり」の裂	1997(平成9)	6.0×38.5	絹・紬・経緯緋	寄附
41	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「おぼろ月」の裂	1998(平成10)	26.0×38.0	絹・紬・経緯緋	寄附
42	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「光彩」の下図	2002(平成14)	39.7×59.3	紙	寄附
43	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「光彩」の裂	2002(平成14)	42.3×42.0	紙	寄附
44	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「光彩」の裂	2002(平成14)	21.0×39.5	絹・紬・経緯緋	寄附
45	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「瀬」の下図	2004(平成16)	29.8×42.0	紙	寄附
46	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「瀬」の下図	2004(平成16)	29.8×42.0	紙	寄附
47	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「瀬」の下図	2004(平成16)	29.8×42.0	紙	寄附
48	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「瀬」の下図	2004(平成16)	29.8×42.0	紙	寄附
49	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「瀬」の裂	2004(平成16)	21.8×39.7	絹・紬・経緯緋	寄附
50	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「桜の森」の下図	2004(平成16)	59.5×42.0	紙	寄附
51	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「桜の森」裂	2004(平成16)	41.0×38.5	絹・紬・経緯緋	寄附
52	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「桜の森」裂	2004(平成16)	21.5×39.0	絹・紬・経緯緋	寄附
53	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「蛍影」の下図	2005(平成17)	59.5×42.0	紙	寄附
54	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「蛍影」の下図	2005(平成17)	42.0×59.5	紙	寄附
55	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「蛍影」の裂	2005(平成17)	22.5×38.3	絹・紬・経緯緋	寄附
56	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「奏」の下図	2007(平成19)	29.5×42.0	紙	寄附
57	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「奏」の下図	2007(平成19)	30.0×41.8	紙	寄附
58	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「奏」の裂	2007(平成19)	19.0×39.5	絹・紬・経緋	寄附
59	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「山並み」の下図	2011(平成23)	29.8×42.0	紙	寄附
60	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「山並み」の下図	2011(平成23)	70.0×42.0	紙	寄附
61	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「山並み」の裂	2011(平成23)	24.0×38.5	絹・紬・経緯緋	寄附
62	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「朝風」の裂	1972(昭和47)	31.0×35.5	絹・紬・緯緋	寄附
63	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花七宝繫」の下図	1975(昭和50)	38.8×38.3	紙	寄附
64	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花七宝繫」の下図	1975(昭和50)	38.8×54.0	紙	寄附
65	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花七宝繫」の裂	1975(昭和50)	26.7×37.0	絹・紬・緯緋	寄附
66	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「花七宝繫」の下図	1975(昭和50)	33.0×48.0	紙	寄附
67	工芸資料	渡辺溥子	紬織着物「月影」の裂	1999(平成11)	24.2×40.0	絹・紬・経緯緋	寄附
68	日本画	作者不詳	縮景園図	18世紀(江戸)	32.7×181.3	紙本彩色(1巻)	受託
69	日本画	作者不詳	縮景園図(浅野侯別邸泉邸図)	19世紀(江戸)	32.5×154.5	紙本彩色(1巻)	受託
70	書	頼 春水	縮景園記	1806(文化3)	27.4×255.0	紙本墨書(1巻)	受託

### 3 新規収集美術品より

#### (1) 田辺 玉田《四季山水図》

田辺 玉田(たなべ ぎょくでん 生年未詳-大正14年 -1925)は日本画家加山又造の祖父。京都で学び、旅絵師として活動し、全国画家番付に明治・大正期の広島での活動を報じられた数少ない一人である。展覧会活動を行った形跡は知られず、今日では広島にも画名が全く伝わっていない。没後の顕彰に尽力する弟子や支援者のほとんどいなかったであろうことがその主因であろうが、明治・大正期の広島における画家活動を解明するために今後の調査が必要である。

本作は総金地の六曲屏風に濃墨を主調として描いた山水画で、筆致や画面構成などに画家の堅実な画力を認められる大作である。画面には一双方の中央に水景、その両端に山や島などを配置し、右隻に桜や雪景の遠山、左隻に紅葉や夏景の遠山をめぐらせている。近代以前に盛行した山水画の画面構成を素地としつつ、主要な景物である釣人(右隻)や亭(左隻)を濃彩で加えることで近代絵画らしい画面の変化が試みられている。



No.1 田辺 玉田《四季山水図》



#### (2) 山路 商《アネモネ》

山路 商(やまじ しょう 明治36年-昭和19年 1903-1944)は新潟県長岡市出身。大正時代半ばに広島に移住、大正末から画壇で作品を発表した。田中万吉、灰谷正夫、福井芳郎ら、昭和期の広島洋画壇を支えた新進作家とともに美術グループを結成したほか、詩や舞台装置など多分野で活動を展開。戦前期の広島における前衛美術運動のリーダーとして活躍した。鬚光との交友は終生続き、強い影響を与えた作家としても知られる。

本作は色彩のコントラストを抑え、柔らかな筆使いで形態の輪郭を暈したように表現した比較的晩年の作風が見て取れる。



No.2 山路 商《アネモネ》

#### (3) 太田 忠《晩秋》《農村の秋 (オーベルニュ地方)》

太田 忠(おおた ちゅう 明治41年-昭和46年 1908-1971)は、広島市出身で、国鉄勤務の傍ら制作活動を行った。広島で開催された講習会で知遇を得た小磯良平に学び、1938年の第3回新制作展に初入選。また、同年、広島市内から北部地域に転勤となり、以後、三次に定住。自然豊かな山間の風景を好んで描き、機関士画家として親しまれた。戦後も新制作展に出品を続けるほか、日本国際美術展、現代日本美術展などで活躍。赤を中心とした鮮やかな色彩と、絵具を塗り重ねた力強い画面による、素朴で温かみのある作風に特色がある。



《晩秋》は、タッチを積み重ねて画面に絵具を盛り上げた作風で、豊かな色彩のうちに素朴で親しみやすい情景を描いた1960年代初め頃の特徴がよく現れている。

《農村の秋(オーベルニュ地方)》は、フランスの静かな集落を描く。太田は、1963年と68年の二度にわたって渡欧しており、晩年は、ヨーロッパに取材した風景画を多く描いた。とくに《農村の秋》は、山峰を大きく盛り上げた誇張した表現や、赤色が際立つ色彩などに、画風の特徴が顕著に表れている。第34回新制作展に出品され、同展への生前最後の出品となった。



No.3 太田 忠《農村の秋(オーベルニュ地方)》



No.4 太田 忠《晩秋》

#### (4) 福井 芳郎《ヒロシマ》

福井 芳郎 (ふくい よしろう 明治45年-昭和49年 1912-1974)は1928年、若干17歳で帝展に入選し、一躍天才児として注目され、またその後も入選を続け非凡な少年画家と騒がれたという。戦時中は衛生兵として広島で働いたが、駐留していた救護所(爆心地から約2km)で被爆した。倒壊した建物から這い出すとすぐに爆心地へ向かったが、熱と炎で近づけず、救護所近くで被災状況をスケッチし、翌日も炎のくすぶる爆心地近くでスケッチするなど、被爆後、最も早くその惨状を画面にとどめた作家として知られている。戦後は原爆症にも苦しめられ、戦争を糾弾する趣旨を含んだ作品の制作も生涯にわたって続けた。

旧所蔵者の覚書によると、昭和22年か23年に購入の際、仲介者から「(福井芳郎が)原爆に遭い直後の燃える様を記憶に納め、はじめて描いたもっともなまなましい原点とも云えるもの」と説明を受けたと記していて、原爆の被災状況を最も早く画面にとどめたと言われている福井芳郎の、油彩画による最も早い作例の一つであることがうかがえる。

#### (5) 中谷 翫古《古代雛》

中谷 翫古(なかに がんこ 明治元年-昭和12年 1868-1937)は、現在の広島市中区出身。大阪に出た後、鈴木雷斉に洋画を学ぶとともに、彫刻は父親である人形師・中谷省古(なかにせいこ)に学んだ。省古の門人には平籥田中らがいた。1891年日本美術協会で褒状一等を受け、以降、日本美術協会、東京彫工会で受賞を重ねた。宮内省の買い上げ作品も多い。1920年第二回帝展で初入選。以降、帝展へ出品を続けた。

作者、当館で所蔵の《題目踊り》のように、彩色による女性風俗像を得意としたことが知られている。これは、はじめ油土で原型をつくり、木にうつした後、彩色を行うものである。一方、《古代雛》は一気



No.6 中谷 翫古《古代雛》



に彫り上げたとみられ《題目踊り》とは表現手法が大きく異なり、作者の活動の幅を示す作例と言える。

#### (6) 今井 政之《象嵌彩灰被チャンカイ讃歌花壺》

今井 政之(いまい まさゆき 昭和5年－ 1930－)は、大阪市に生まれ、1943年に父の故郷である広島県竹原市竹原町に疎開した。広島県立竹原工業学校金属工業科を卒業後、岡山県備前市での修行を経て京都へ出る。1952年に京都青陶会の創立同人となり、主宰の楠部彌弌に師事した。1953年に第9回日展に初入選を果たし、以降、入選・入賞を重ね、1998年に理事に就任。日展重鎮作家としての地位を築く。苔泥彩と呼ぶ独自の釉薬や、広い面積に色土を象嵌する面象嵌を編み出すなど独自の境地を見せ、2018年に陶芸家として広島県から初めてとなる文化勲章を受章し、広島県より名誉県民の称号を受ける。

本作は、ペヘサポという吸盤を持つ魚の姿を面象嵌により器面に表した壺。西条(広島県)の土を混ぜ、穴窯の焚き口の近くに置いて約1300度で焼成された。背面の口縁から胴にかけて降灰による自然釉が掛かり、景色を作り出している。作者は、1989年に国際交流基金の文化講師としてペルーに赴き、現地のチャンカイ遺跡を訪れた際にレストランで食べたペヘサポを気に入って調理前の姿をスケッチし、帰国後、これを基に制作した。類作がペルーの日本大使公邸に飾られており、これはペルー滞在時に成形したもので、作者が帰国後に現地で焼成され、大使公邸に収められたという。1996年にペルーで起きた日本大使公邸人質事件の際、公邸内の美術工芸品で唯一破損を免れたことから「幸運のつぼ」と呼ばれている。



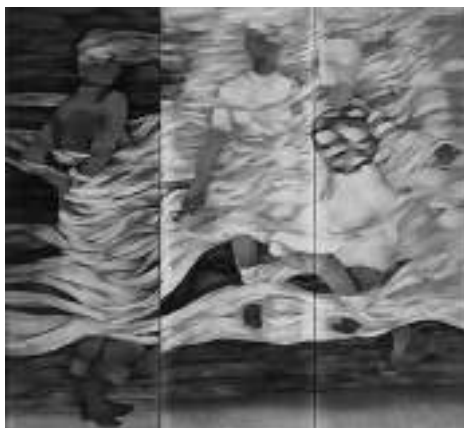
No.7 今井 政之  
《象嵌彩灰被チャンカイ讃歌花壺》

#### (7) 杉谷 富代《風の記憶》《月明かりに》

杉谷 富代(すぎたに とみよ 大正13年－平成24年 1924－2012)は、広島県御調郡久井町(現、三原市)出身。染色は独学で、1972年以来たびたび滞仏し、スタンリー・ウィリアム・ヘイターなどに師事してデッサンや版画を学んだ。光風会に属して指導的立場にあり、さらにその上部団体である日展でも活躍したが、1992年に会派から離脱し、以後無所属となる。広島染色工芸の草分けの一人で、アトリエに藍場を作って本格的な藍染に取り組み、型染に蠟けつ染を組み合わせた独特の藍の世界を追求した。

作者は風をテーマとする作品を数多く発表しており、《風の記憶》はそれに連なるものである。藍地に3人の少女と細い帯状に表された風を蠟けつ染等で表している。風シリーズに共通のモチーフである少女は、入市被曝した作者がその後流産した子供の姿を投影しているという。ヒロシマを体験した作家の精神史の側面も感じさせる。

《月明かりに》は、下駄を履いた女性の足元と、ねじり鉢巻き姿の男性のシルエットによって阿波踊りの一団を表した作品。本作も藍染めを基調としている。



No.8 杉谷 富代《風の記憶》



No.9 杉谷 富代《月明かりに》

(8) 渡辺 溥子の染織作品 14 領と下図等資料 44 点

渡辺 溥子(わたなべ ひろこ 昭和13年－ 1938－)は、広島市生まれ。本名は廣子。1979年から作家名として溥子を用いる。女子美術大学短期大学部図工科を卒業したのち、重要無形文化財保持者(紬縞織、緋織)の宗廣力三に師事し、1969年に岐阜県の郡上工芸研究所を修了した。1972年に第9回日本伝統工芸染織展に初入選・受賞、1979年に第26回日本伝統工芸展に初入選。複雑な経緯緋を駆使した紬織着物を一貫して制作、日本伝統工芸展を中心に発表を重ねてきた。

制作を回顧する作品群14領とその制作過程を垣間見ることができる下図等の資料44点のうち、《薫風》は1974年の第11回日本伝統工芸染織展入選の初期作、《星彩》は1994年に第31回日本伝統工芸染織展で東京都教育委員会賞を受賞し、《おぼろ月》は1998年に第35回日本伝統工芸染織展で東京都教育委員会賞受賞の円熟期の作品である。下図は布のデザイン制作、そして、経、緯、あるいは経緯の緋糸を作るための図面を含んでおり、染織作家の制作プロセスを垣間見ることができる興味深い資料である。中には、作者がイラストレータを用いてデザインした唯一の作品、《瀬》の出力下図も含んでいる。



No.10 渡辺 溥子《薫風》



No.16 渡辺 溥子《おぼろ月》

## Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
彫刻	イサム・ノグチ	追想	東京都美術館	イサム・ノグチ 発見の道	3. 4. 24～8. 29 (東京都美術館)
日本画	甲斐庄楠音	横櫛	大阪歴史博物館	あやしい絵展	3. 7. 3～8. 15 (大阪歴史博物館)
油彩画	南 薫造	水郷	久留米市美術館	没後70年 南薫造	3. 7. 3～8. 29 (久留米市美術館)
	南 薫造	台湾風景			
	南 薫造	少女3			
	南 薫造	水辺2			
	南 薫造	雪の日			
	南 薫造	犬吠岬			
	南 薫造	麦刈り			
	南 薫造	瀬戸内風景2			
水彩画	南 薫造	蒲刈島風景	久留米市美術館	没後70年 南薫造	3. 7. 3～8. 29 (久留米市美術館)
	南 薫造	演習風景			
	南 薫造	働く人3			
	南 薫造	台湾風景			
	南 薫造	ミモザ			
	南 薫造	あぜ道			
	南 薫造	西湖 白堤			
	南 薫造	塔を望む			
	南 薫造	鄱陽湖畔			
	南 薫造	水辺彩屋			
	南 薫造	山寺2			
	南 薫造	雪の日			
素描	カジミール・マレーヴィチ	アロギズム(1つの正方形、2つの長方形、2つの円、2つの円錐)	佐川美術館	吉左衛門X MALEVICH マレーヴィチー素描 + 十五代樂吉左衛門・直入一 茶碗	3. 9. 14～11. 14 (佐川美術館)
	カジミール・マレーヴィチ	シュプレマティスムの素描(二つの正方形)			
油彩画	ルネ・マグリット	人間嫌いたち	Museo Nacional Thyssen-Bornemisza Fundació la Caixa	The Magritte Machine	3. 9. 14～4. 1. 30(Museo Nacional Thyssen-Bornemisza) 4. 2. 24～6. 6 (CaixaForum Barcelona)
日本画	其阿弥赫土	谷	呉市立美術館	追悼 其阿弥赫土	3. 9. 18～11. 7 (呉市立美術館)
	其阿弥赫土	晩秋の記録			
日本画	不詳	唐子遊び図	広島県立歴史民俗資料館	江戸時代の子ども事情— 幼き者へのまなざし—	3. 10. 8～11. 28 (広島県立歴史民俗資料館)
	和高節二	田植時			
日本画	菱田春草	荘重(高士望岳)	飯田市美術博物館	菱田春草没後110年記念特別展「菱田春草展」	3. 10. 9～11. 7 (飯田市美術博物館)
日本画	不詳	縮景園図	頼山陽史跡資料館	常設展	3. 12. 25～12. 26 (頼山陽史跡資料館)
書	頼春水	縮景園記	頼山陽史跡資料館	常設展	3. 12. 25～12. 26 (頼山陽史跡資料館)

# Ⅸ 関係法規

## 広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)  
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 令和3年3月22日

### (設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

### (位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

### (業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

### (職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

### (指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 美術館の入館料の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

### (開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

### (休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

### (利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付



することができる。

#### (利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

#### (展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

#### (入館料の納付等)

第11条 美術館の展示する美術品等を観覧する者は、別表第一に定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

#### (利用料金の納付等)

第12条 展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第二及び別表第三に定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

#### (入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
  - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
  - (3) 療育手帳の交付を受けている者
  - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
  - (5) 六十五歳以上の者
  - (6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
  - (7) 小学校、中学校、高等学校又はこれらに準ずる学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者の引率者
  - (8) 祝日法第二条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
  - (9) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)と併せて観覧する者
  - (10) その他知事が別に定める者
- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、特別展に係る入館料を減免することができる。
- (1) 祝日法第二条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
  - (2) 祝日法第二条に規定する文化の日に入館する者
  - (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成十三年広島県条例第四十号)第三条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
  - (4) その他知事が別に定める者

#### (利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前条第一項第一号から第四号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。
- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
- (5) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼

稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

(6) その他教育委員会が別に定める場合

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。

(1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。

(2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

#### (利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

#### (利用許可の取消し等)

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

(1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。

(2) 第九条各号のいずれかに該当するに至つたとき。

(3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。

(4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。

(5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。

2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

#### (遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。

(2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。

(3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。

(4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。

(5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。

(6) 指定管理者の指示に従うこと。

(7) その他教育委員会が定める事項

#### (禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(1) 寄附の募集

(2) 爆発物その他危険物等の持込み

(3) 行商その他これに類する行為

(4) 宣伝その他これに類する行為

(5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

#### (入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

#### (原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

#### (損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

#### (指定管理者の指定を取り消した場合等の特例)

第22条 知事は、指定管理者の指定を受ける者がいないとき、指定管理者を指定することができないとき、又は指定管理者の指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、指定管理者を指定し、又は当該停止の期間が終了するまでの間、美術館の管理を行うものとする。

2 知事は、前項の規定により美術館の管理を行う場合においては、展示施設等及び駐車場を利用する者から、使用料を徴収する。

3 第十二条第一項及び第三項並びに第十四条の規定は、前項の使用料について準用する。この場合において、これらの規定中「指定管理者が別表第二及び別表第三に定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める」とあるのは「別表第二及び別表第三に定める金額の範囲内で教育委員会が定める」と、「利用料金」とあるのは「使用料」と、「利用許可を受けた者」とあるのは「使用料を納付した者」と、「指定管理者は」とあるのは「知事は」と読み替えるものとする。



(委任規定)

第23条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事その徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

- 3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であって、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。
- 4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。  
(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第三号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月22日条例第7号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年10月12日条例第47号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月8日条例第5号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。  
一～三 略  
四 前三号に掲げる規定以外の規定 平成31年10月1日

附 則(令和3年3月22日条例第3号)

この条例は、令和3年4月1日から施行する。

別表第1(第11条関係)

- 1 所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大学生及びこれに準ずる者	1人1回310円	1人1回250円	1人1回250円
その他15歳以上の者 (中学校又は高等学校の生徒 及びこれに準ずる者を除く。)	1人1回510円	1人1回410円	1人1回410円

- 2 特別展の場合

1人1回 2,100円以内で知事が定める額

## 別表第2(第12条関係)

### 展示施設等の利用料金の範囲

利用区分	施設区分	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
入場料有料の場合	1時間につき	1,790円以内	3,050円以内	3,050円以内	3,050円以内	3,250円以内	4,930円以内
	1日につき	13,630円以内	24,320円以内	24,320円以内	24,320円以内	25,780円以内	
入場料無料の場合	1時間につき	950円以内	1,580円以内	1,580円以内	1,580円以内	1,680円以内	2,520円以内
	1日につき	6,820円以内	12,170円以内	12,170円以内	12,170円以内	12,900円以内	
電気設備を利用する場合		実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

#### 備考

- この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

## 別表第3(第12条関係)

### 駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間30分までごとに	420円以内 220円以内

## 広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)  
広島県条例第3号

### (設置)

- 第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

### (組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

- 2 委員は、教育委員会が任命する。

### (委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

### (雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

## (広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

# 広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)  
教育委員会規則第1号

最終改正 平成29年3月23日教育委員会規則第1号

## (趣旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

## (指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

## (開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

## (展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にななければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

## (展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

## (駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

## (利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

## (利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

## (利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号又は同条第二項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

2 条例第十四条第一項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。

3 条例第十四条第一項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。

4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

## (利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第二項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(平成二九年三月二三日教育委員会規則第一号)抄

(施行期日)

1 この教育委員会規則は、平成二十九年四月一日から施行する。

(広島県美術展開催運営規則の廃止)

2 広島県美術展開催運営規則(昭和五十二年広島県教育委員会規則第二号)は、廃止する。

## 広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
  - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品  
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
  - (2) 近代の工芸作品  
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
  - (3) 近代の彫塑作品  
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
  - (4) その他の美術作品  
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
  - (5) 美術資料  
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
  - (6) 補助的関連資料  
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

## 広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
  - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
  - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品
  - (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
  - (1) 絵画作品
    - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品
    - 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
    - 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
  - (2) 工芸作品
    - 1) 東洋的伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式作品
    - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
    - 3) 近代工芸確立期(1920年代)及び戦後昂揚期(1960年代)の作品
    - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品  
1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品
  - 1) 欧米作家等の作品
  - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
  - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
  - (2) “手で見ると彫刻”作品

- (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

## 県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など  
近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など  
わが国とアジア各国の優れた工芸作品（陶磁、染色、漆芸など）を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など  
現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

## 広島県立美術館美術品等取扱要綱

### (趣 旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### (定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

### (管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

### (寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

### (寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

### (一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

### (返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

### (受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

### (受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

### (寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

### (寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めたときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

### (寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附しようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。



### (貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

### (借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

### (貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

### (貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

### (報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

### (補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

### 附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

## 広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

### 1 利用形態

#### ① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

#### ② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

#### ③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

#### ④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。



⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

# X 名 簿

## 美術品等収集評価委員会

委員 長	山 梨 俊 夫	元国立国際美術館 館長
委 員	井 関 和 代	大阪芸術大学名誉教授
〃	唐 澤 昌 宏	独立行政法人国立工芸館 館長
〃	島 田 康 寛	元神戸市立小磯記念美術館 館長
〃	菅 村 亨	元広島大学教授
〃	中 林 和 雄	独立行政法人国立近代美術館 副館長
〃	速 水 豊	三重県立美術館 館長

## 職 員

館 長	千 足 伸 行
副 館 長	沖 見 広 徳
総括企画監	小別所 智 昭
総務課長	井 上 博 貴
主 査	山 中 智 幸
〃	藤 井 美也子
事務従事員	一 色 直 香
〃	弘 津 かおる
〃	福 原 美 和
学芸課長	福 田 浩 子
主任学芸員	角 田 新
〃	藤 崎 綾
〃	神 内 有 理
〃	山 下 寿 水
学 芸 員	隅 川 明 宏
〃	岡 地 智 子
〃	森 万由子

---

令和3年度

## 広島県立美術館年報

令和5年1月31日発行

発行者 **広島県立美術館**

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22  
電話(082)221-6246

印刷所 **株式会社 タカトープリントメディア**

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30  
電話(082)244-1110

---

(人名については、敬称略)

